

山谷地域簡易宿所宿泊者
生活実態調査

令和7年3月

 東京都福祉局

目 次

| | |
|----------|----|
| 山谷地域の概要 | 1 |
| 調査の概要 | 3 |
| 用語説明 | 5 |
| 調査結果の概要 | 6 |
| 調査結果のグラフ | 10 |
| 調査票 | 29 |

山谷地域の概要

1 沿革

- 江戸時代 …………… 奥州街道、日光街道の宿場町として発展
- 明治期 …………… 木賃宿街として発展
- 大正期 …………… 大震災で木賃宿は、ほとんど全焼
- 第2次大戦前 …………… 木賃宿が100軒を超える
- 第2次大戦後 …………… 戦災により焼け野原と化し、被災者が上野周辺に集中
- 昭和20年 …………… 治安への影響を重視したGHQが東京都に援護を要請し、山谷地域に仮設テント村を確保
- 昭和24年 …………… 「緊急失業対策法」の制定に伴い、戦後の復興に多くの日雇労働者が雇用されるなど労働需要が増加
- 昭和28年 …………… テント村は本建築の簡易宿所に変更
簡易宿所約100軒、約6,000人が宿泊
- 昭和30年 …………… 日本経済の高度成長に伴い、土木・建築作業や港湾荷役作業における労働需要が高まり、全国有数の「寄せ場」に成長
- 昭和38年 …………… 昭和39年東京オリンピック開催に向けて都市基盤の建設・整備には山谷地域の日雇労働者の力が大きく寄与した
簡易宿所222軒、約15,000人が宿泊
- 昭和40年 …………… 「東京都城北福祉センター」と「財団法人山谷労働センター」が開設
- 昭和48年 …………… 景気の減速・仕事の減少に伴う就労対策として、都が「特別就労対策事業」を開始
- 平成15年 …………… 「東京都城北福祉センター」と「財団法人山谷労働センター」が統合し、「財団法人城北労働・福祉センター」が発足（平成23年に公益財団法人に移行）
- 令和3年 …………… 「公益財団法人東京都福祉保健財団」と「公益財団法人城北労働・福祉センター」が合併し、「公益財団法人東京都福祉保健財団城北労働・福祉センター」となる。

2 位置及び面積

「山谷」という地名は、江戸時代から存在しており、昭和41年以前は現在の住居表示でいう清川一・二丁目、東浅草二丁目の一部を「浅草山谷一丁目から四丁目」としていた。

昭和41年の住居表示の変更に伴い、「山谷」という地名はなくなったが、現在も台東・荒川両区にまたがる簡易宿所密集地域を「山谷地域」と総称している。

【現在の住居表示】

台東区 (0.69 k m²) ・ ・ ・ ・ ・ 清川一・二丁目、日本堤一・二丁目、東浅草二丁目、橋場二丁目

荒川区 (0.97 k m²) ・ ・ ・ ・ ・ 南千住一・二・三・五・七丁目

※ 山谷の中心に位置する泪橋交差点の『泪橋』とは、江戸時代小塚原の刑場で処刑される罪人が振り返って「泪（涙）」を流したことが由来とされている。

3 簡易宿所及び宿泊者

(1) 簡易宿所数等

簡易宿所とは、旅館業法第二条第4項に規定する「宿泊する場所を多数人で共用する構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて人を宿泊させる」ものをいい、令和6年10月現在、山谷地域には120軒ある。

建物の構造はかつて、木造2階建てが多かったが、昭和50年頃から鉄筋コンクリートへの改築が進んでいる。

(2) 宿泊者数等

昭和39年の東京オリンピック時の約15,000人をピークとして、令和6年10月現在では、約3,000人が宿泊している。

調査の概要

1 目的

この調査は、昭和45年に開始し、昭和47年から4年ごとに実施しており、前回は令和3年に実施したものである。これまでも、調査データは山谷対策の基礎的資料を得ることを目的としてきたところであるが、平成21年度の調査からは、3年ごとの東京都山谷対策総合事業計画策定の前年度に実施することで、山谷対策の基礎的資料としての活用目的をより一層明確にしている。

2 調査年月日

令和6年10月1日

3 調査対象者

山谷地域の簡易宿所に調査当日宿泊している15歳以上の宿泊者

4 対象地域

- (1) 台東区 東浅草2丁目、日本堤1・2丁目、清川1・2丁目
- (2) 荒川区 南千住1・2・3・5・7丁目

5 対象簡易宿所

前項4の地域にある、全簡易宿所120軒

6 調査項目

性別、年齢、出身地、居住期間、宿泊状況、住民登録、稼働日数、賃金状況、食事代、不安感、年金受給状況、健康保険加入状況、健康状況、身体障害状況、城北労働・福祉センター利用状況、福祉事務所利用状況、都営住宅への申込、老後の生活場所等

(旅行・ビジネス等の目的で宿泊している宿泊者に対しては性別・年齢・宿泊目的等について簡易調査を実施した。)

7 調査方法

この調査は、調査対象者である簡易宿所宿泊者による自計式調査をもって行った。

また、調査の実施に当たっては、調査票の配布回収等の業務を城北旅館組合に委託した。

※ 調査対象者が回答を自分で記入する方法を「自計式」又は「自記式」という。

8 調査実績

(1) 調査基準日宿泊者 3,094人(推計)、回収枚数1,771枚 回収率57.2%

(2) 調査対象者数 1,771人(旅行・ビジネス等以外の目的での宿泊者1,508人)

(3) 過去の調査実績

| | | 調査開始 | | | | | | | | | | |
|--------------------|--------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| 年度 項目 | S45 | H3 | H7 | H11 | H15 | H19 | H21 | H24 | H27 | H30 | R3 | R6 |
| 配付枚数(枚) | 11,319 | 7,190 | 5,811 | 4,620 | 4,616 | 4,264 | 4,994 | 4,298 | ※ 4,184 | 3,783 | 2,946 | 3,094 |
| 回収枚数(枚) | 9,028 | 6,260 | 5,156 | 4,475 | 4,350 | 3,801 | 4,032 | 3,477 | 3,011 | 2,500 | 2,028 | 1,771 |
| 旅行・ビジネス等以外の目的での宿泊者 | — | — | — | — | ※ 3,885 | 3,336 | 3,564 | 3,099 | 2,630 | 2,180 | 1,928 | 1,508 |
| 旅行・ビジネス等の目的での宿泊者 | — | — | — | — | ※ 465 | 465 | 468 | 378 | 381 | 320 | 100 | 263 |
| 回収率(%) | 79.8 | 87.1 | 88.7 | 96.9 | 94.2 | 89.1 | 80.7 | 80.9 | 72.0 | 66.1 | 68.8 | 57.2 |

※ 平成15年度調査から、宿泊目的の調査を開始。

※ 平成27年度調査から、基準日時点の宿泊者数を計上。

※ 平成27年度調査から、城北旅館組合加盟旅館以外を含む全簡易宿所を対象としている。

用語説明

1 特別就労対策事業（特就）

減少し続ける民間事業者の日雇求人を補うため、東京都が、都立公園、都道の除草・清掃などの仕事を業者に委託し、労働出張所や城北労働・福祉センターで紹介している。

2 雇用保険被保険者手帳（白手帳）

雇用保険被保険者が、その者の住所又は居所を管轄する公共職業安定所において交付を受ける。

手帳所持者は、就労日数の要件を満たすと、失業給付（日雇労働求職者給付金 通称：アブレ手当）を受給する資格が得られる。

3 求職受付票（ダンボール手帳）

日雇いの仕事の紹介を受けるために、労働出張所に求職申込みを行った際に発行されるカード。仕事の紹介は受けられるが、アブレ手当は受給できない。一定の要件を満たすと雇用保険被保険者手帳の交付を受けられる。

4 日雇労働求職者給付金（アブレ手当）

雇用保険における日雇労働者向けの失業給付金のこと。前二か月で雇用保険印紙が26枚以上貼付してあった場合に受給権が発生する。賃金日額によって印紙の等級が分かれ、手当の日額が決まり、印紙貼付枚数によって支給日数が決まる。

調査結果の概要

<注意事項>

- 構成比は、「不明」、「無回答」を除く有効回答に占める割合である。
- 人（％）→人（％）→人（％）は、平成30年度 → 令和3年度 → 今回調査の結果を、
人（％）→人（％）は、令和3年度 → 今回調査の結果を、表示している。
- 調査基準日宿泊者 3,094人（推定）、回収枚数 1,771枚
- 調査対象者 1,771人（調査結果は旅行・ビジネス等の目的での宿泊者 263人を除いた1,508人で集計する。）

| 宿泊者の平均像（単位：％） | 平成 30年度 | 令和 3年度 | 今回調査 | |
|---------------------------------|------------|-----------|------|---|
| ア 性別が「男性」 | 99.7 | 99.3 | 99.3 | → |
| イ 年齢が「60歳以上」（平均年齢は68.2歳） | 79.8 | 78.9 | 78.1 | → |
| ウ 出身地が「関東・東北地方」 | 66.4 | 66.2 | 65.1 | ↓ |
| エ 現在仕事をしている人 | 91.3 | 79.0 | 73.9 | ↓ |
| オ 雇用形態が「日雇・日雇長期」 | 41.5 | 31.9 | 26.3 | ↓ |
| カ 就労日数が「月平均11～20日」 | 55.5 | 47.9 | 47.1 | ↓ |
| キ 生活保護を「受けている」 | 89.9 | 90.4 | 86.2 | ↓ |
| ク 山谷居住期間が「10年以上」（20年以上は16.1%） | 40.3 | 40.6 | 43.4 | ↑ |
| ケ 住民登録が「現住の簡易宿所」 | 82.0 | 85.2 | 84.0 | ↓ |
| コ 食事代（日平均で酒代を含む）が「1,000～2,000円」 | 72.9 | 68.5 | 62.8 | ↓ |
| サ 年金を「受給している」 | 20.4 | 23.5 | 31.0 | ↑ |
| シ 希望する住まいが「今までどおり簡易宿所」 | 64.5 | 65.3 | 66.4 | ↑ |

※ 右端の矢印は前回調査（令和3年10月）との比較増減
 ⇒：増減なし →：ほぼ横ばい（増減1%未満） ↑↓：1%以上5%未満の増減 ↑↓：5%以上の増減
 ※ エ～カは、生活保護受給者を除く。

1 居住者（P. 11 ～）

- ・ 平均年齢は、68.2歳であり、前回調査67.5歳を0.7歳上回った。
- ・ 年齢層は、「65歳以上」の人の割合が、68.4% → 68.9% → 69.4%と増加しており、高齢化が顕著である。

- ・ 性別は、「男性」が1,852人（99.3%）→1,453人（99.3%）と、前回調査とほぼ同じ割合である。
- ・ 出身地は、「関東・東北」出身者が65.1%を占めており平成3年の調査以降大きな変化は見られない。

2 仕事 (P. 14 ~)

※「就労経路」、「特就」に関する質問以外は生活保護を除く

- ・雇用形態は、「常雇い（30日以上）」の割合が30.8%で最も多く、日雇・日雇長期の割合は26.3%となっている。
- ・日雇・日雇長期の就労日数は、「21～25日」の割合が前回調査より増加（22.5%→35.3%）しており、16日以上の割合が61.8%である。
- ・日雇賃金（1日あたり）は、「1万円未満」の割合が50.0%と半数を占めている。

- ・年齢別雇用形態は、全年齢階級において「常雇い（30日以上）」の割合が最も高い。
- ・日雇賃金（1日あたり）（特就・アルミ缶等収集を含む。）は、半数以上が「1万円未満」である状況が続いている。
- ・平均日雇賃金の推計は、（9,800円 → 9,900円 → 10,488円）となっている。
- ・日雇い・日雇い長期の就労経路（複数回答）については、「玉姫・河原町労働出張所」が（30.4%）、「城北労働・福祉センター」が（22.5%）と、職業紹介機関からの割合が高い。
- ・「日雇・日雇長期」で働いている人のうち、東京都特別就労対策事業（特就）に月1日以上従事している人は、77人（74.8%）である。そのうち、生活保護受給者は、51人（66.2%）となっている。

3 生活 (P. 18 ~)

- ・生活保護受給者は、1,252人（86.2%）である。（前回調査1,634人（90.4%））
- ・住民登録は、現在の居所である宿所での登録が前回調査同様8割を超えている。（85.2% → 84.0%）
- ・昼間の生活場所（複数回答）は、「簡易宿所の部屋」で過ごしている人が1,169人（83.5%）と最も多い。
- ・食事の調達方法（複数回答）は、コンビニ等で購入している人が最も多い。（88.5%）。
- ・1日の食事代は、「2千円未満」が78.0%を占めている。
- ・いま最も不安に思うこと（複数回答）は、「健康」（51.7%）が最も多い。

- ・年齢別の生活保護受給者の割合は、「80歳以上」が最も高い（91.0%）であるが、全年齢階級において7割を超えている。
- ・山谷地域での居住期間は、年齢が上がるほど長くなる傾向があり、70歳以上の58.9%が10年以上である。
- ・山谷地域に住む前の生活場所は、23区内が85.5%であり、前回調査（86.5%）から大きな変化はない。
- ・住民登録を「現在の宿所」にしている割合は、山谷地域での居住期間が1年未満であれば5割未満だが、1年以上になると8割を超えている。

- ・山谷地域内にいる友人・知人の数は、「3～5人」が18.6%と最も多く、「友人・知人と呼べる人はいない」が(48.7%)となっている。また、友人・知人の存在は、「話し相手」が(62.0%)と最も多く、「生活に必要な情報を教えてくれる存在」(16.4%)、「困ったときに助け合える存在」(11.0%)と続いている。
- ・山谷地域内にいる友人・知人と会う場所(複数回答)は、「自分が泊っている部屋」(33.4%)、「公園などの屋外」(32.7%)、「友人知人の居所」(24.3%)の順で多くなっている。
- ・昼間の主な生活場所(複数回答)は、「自分が泊っている部屋」(83.5%)、「公園などの屋外」(13.6%)、「仕事場」(11.1%)の順で多くなっている。
- ・食事の調達方法(複数回答)は、「コンビニやスーパーで弁当を購入」(88.5%)、「食堂等で外食」(26.8%)、「食材を買って自炊」(15.8%)の順で多くなっている。
- ・食事代については、前回調査からみると、1日当たり「2千円未満」の割合が(84.1% → 78.0%)とやや減少しているが、うち千円未満の割合は(15.6% → 15.2%)とほぼ変化はない。
- ・食事回数については、「1日3食」が632人(45.3%)である一方、「1日2食」も707人(50.7%)と近い割合となっている。
- ・いま最も不安に思うこと(複数回答)は、「健康」(51.7%)、「老後の生活」(23.2%)、「日々の暮らし向き」(18.2%)の順で多くなっている一方「特にない」と答えた人も(36.4%)いる。
- ・必要としている支援(複数回答)は、「健康相談や医療・介護に関する支援」334人(31.8%)、「住まいに関する支援」278人(26.5%)、「食事に関する支援」273人(26.0%)の順に多いが、「生活保護受給に向けた支援」226人(21.5%)や「人とのつながり・生きがいをづくりに関する支援」159人(15.1%)、「当面の生活費に関する支援」158人(15.0%)と、その他の項目も高い割合であり、複数の支援を必要としている人がいる。
- ・山谷地域に必要としている居場所は、「体を動かして運動できる場所」(34.1%)、「他の人たちと談話できる場所」(30.7%)、「食事を作れる場所」(24.2%)の順で多くなっている。

4 健康 (P. 24 ~)

- ・健康状態が「あまりよくない」人は643人(46.4%)である。
- ・病気や体の調子がよくないときは、「医療機関へ行く」が879人(74.3%)と最も多く、「市販薬を使う」101人(8.5%)、「福祉事務所に相談」88人(7.4%)、「安静・自然に治るのを待つ」63人(5.3%)の順に多くなっている。

- ・身体障害者手帳所持者は、87人(6.4%)となっている。
- ・要介護・要支援認定の状況は、要支援49人(3.5%)、要介護63人(4.5%)となっており、利用している介護サービスは、「訪問介護」が最も多くなっている。

5 今後希望する生活 (P. 29 ~)

- ・ 今後も山谷地域で生活したい人は、(71.8%)であり、その理由(複数回答)は、「長年生活してきて馴染みがあるから」(62.3%)、「簡易宿所だと家賃や光熱水費を自分で払わずに済むから」(44.8%)、「周囲との付き合いに気を遣わずに済むから」(33.6%)となっている。
- ・ 今後希望する住まいは、「今までどおり簡易宿所」(66.4%)、「都営住宅」(14.6%)、「民間アパート」(13.6%)の順に多くなっている。

- ・ 年齢階級別の希望する住まいは、40歳以下では「民間アパート」が7割以上と最も高いが、年齢階級が高くなるほど「民間アパート」の割合は少なくなり、「今までどおり簡易宿所」の割合が高くなる。
(50歳代 50.6%、60歳代 61.1%、70歳以上 77.6%)
- ・ 今後希望する生活は、全体としては「生活保護を受給しながら簡易宿所で生活したい」(62.3%)、「生活保護を受給しながら簡易宿所以外で生活したい」(19.1%)、「常用就職により就労自立したい」(9.0%)の順で多くなっている。年齢階級別では、年齢が上がるほど「生活保護を受給しながら簡易宿所で生活したい」割合が高くなる一方で、「生活保護を受給しながら簡易宿所以外で生活したい」、「常用就職により就労自立したい」の割合が低くなっている。

調査結果のグラフ

<注意事項>

○構成比は、「不明」、「無回答」を除く有効回答に占める割合である。

○人（％）→人（％）→人（％）は、平成30年度→令和3年度→今回調査の結果を、
人（％）→人（％）は令和3年度→今回調査の結果を、表示している。

1 居住者

| | |
|----------------------|-----|
| 1 年齢階級構成 — 調査年別 | 1 1 |
| 2 山谷地域での居住期間 — 調査年別 | 1 2 |
| 3 山谷地域での居住期間 — 年齢階級別 | 1 2 |
| 4 出身地 | 1 3 |

2 仕事

| | |
|------------------------|-----|
| 1 現在の雇用形態 — 調査年別 | 1 4 |
| 2 現在の雇用形態 — 年齢階級別 | 1 5 |
| 3 日雇い・日雇い長期就労日数 — 調査年別 | 1 6 |
| 4 日雇い・日雇い長期平均賃金 — 調査年別 | 1 7 |

3 生活

| | |
|-----------------------|-----|
| 1 生活保護受給状況 — 調査年別 | 1 8 |
| 2 山谷地域に住む前の生活場所 | 1 9 |
| 3 住民登録 — 調査年別 | 2 0 |
| 4 住民登録 — 山谷地域での居住期間別 | 2 0 |
| 5 1日の食事代（酒を含む） — 調査年別 | 2 1 |
| 6 1日の食事回数 — 調査年別 | 2 1 |
| 7 いま最も不安に思うこと — 調査年別 | 2 2 |
| 8 現在必要としている支援 — 年齢階級別 | 2 3 |

4 健康

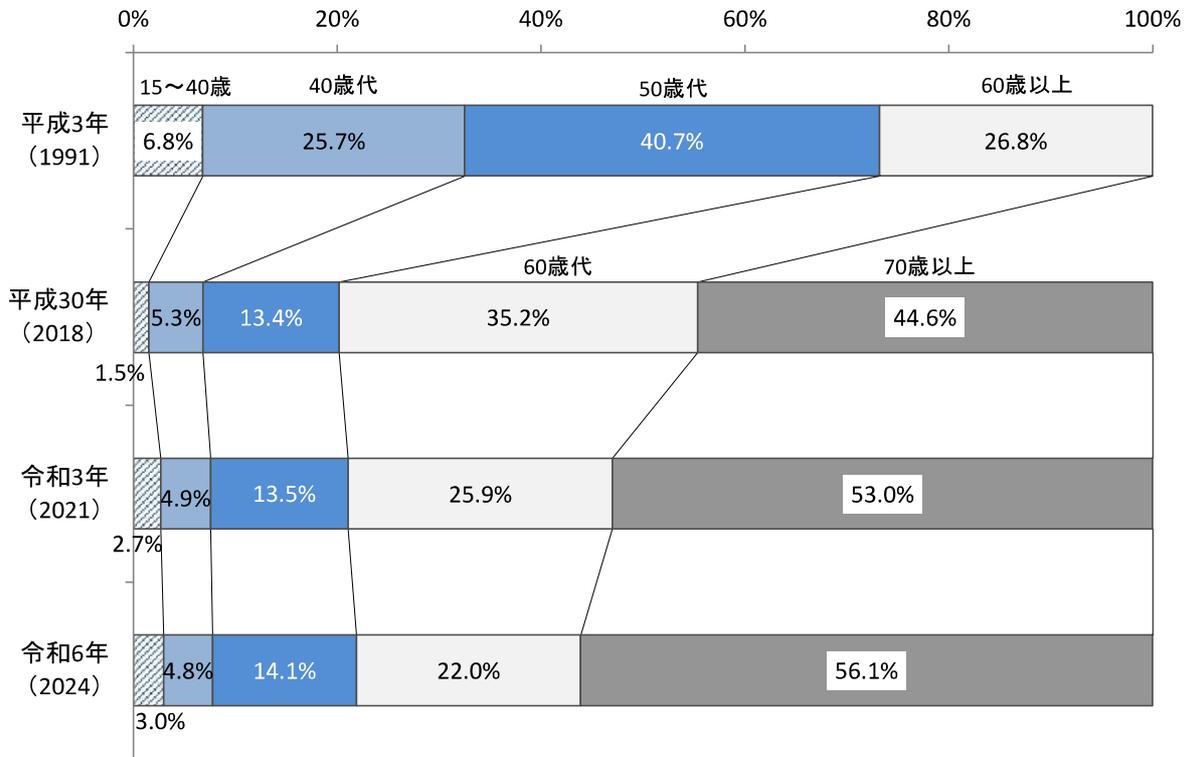
| | |
|---------------|-----|
| 1 健康状態 — 調査年別 | 2 4 |
| 2 要介護度 — 調査年別 | 2 4 |
| 3 介護サービスの利用 | 2 5 |

5 今後希望する生活

| | |
|------------------------|-----|
| 1 山谷での生活を続ける意向 — 調査年別 | 2 6 |
| 2 山谷での生活を続けたい理由 — 調査年別 | 2 6 |
| 3 今後希望する住まい — 年齢階級別 | 2 7 |
| 4 今後希望する生活 — 年齢階級別 | 2 8 |

1 居住者

1 年齢階級構成 - 調査年別



(参考) 住民基本台帳による東京都の世帯と人口(令和6年1月1日現在)

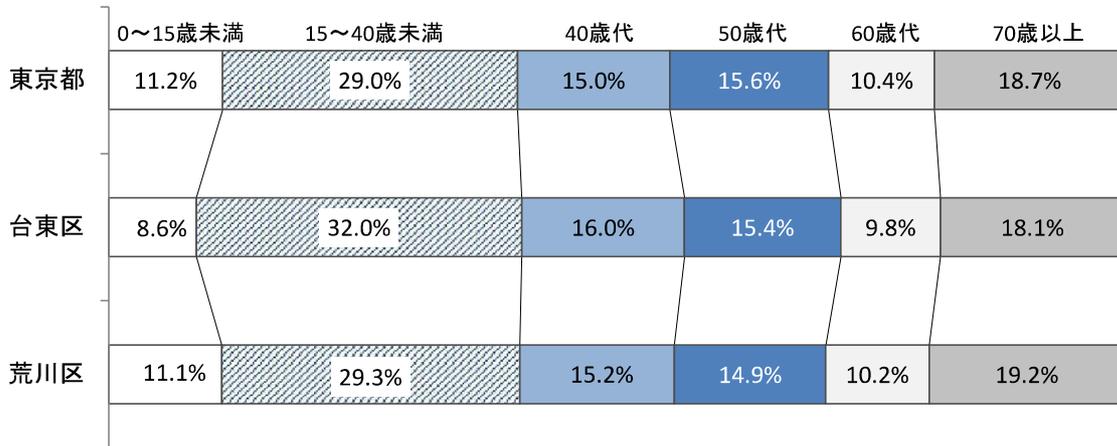


図1-1 年齢階級構成 - 調査年別

令和3年調査より「70歳以上」の割合が3.1ポイント増加している。
平均年齢は68.2歳であり、前回調査67.5歳を0.7歳上回った。

2 山谷地域での居住期間 — 調査年別

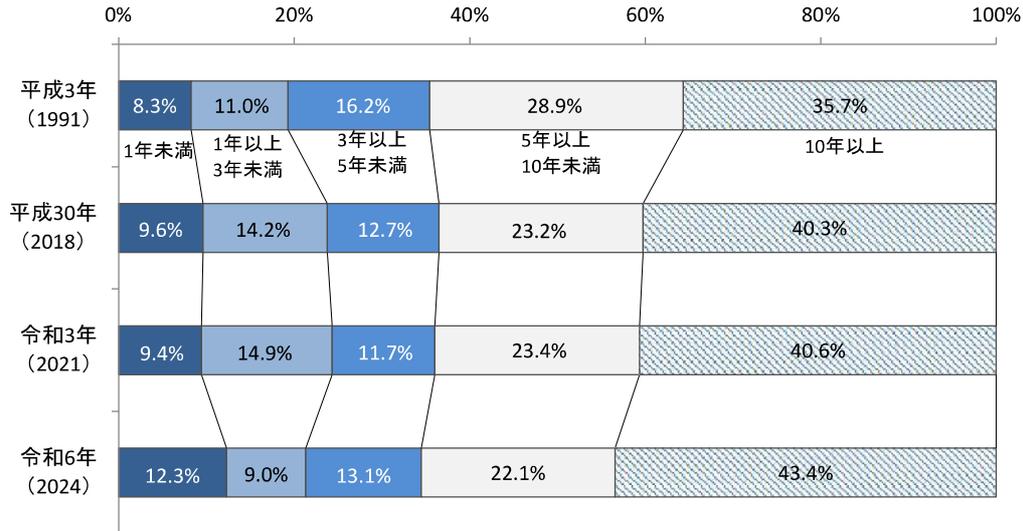
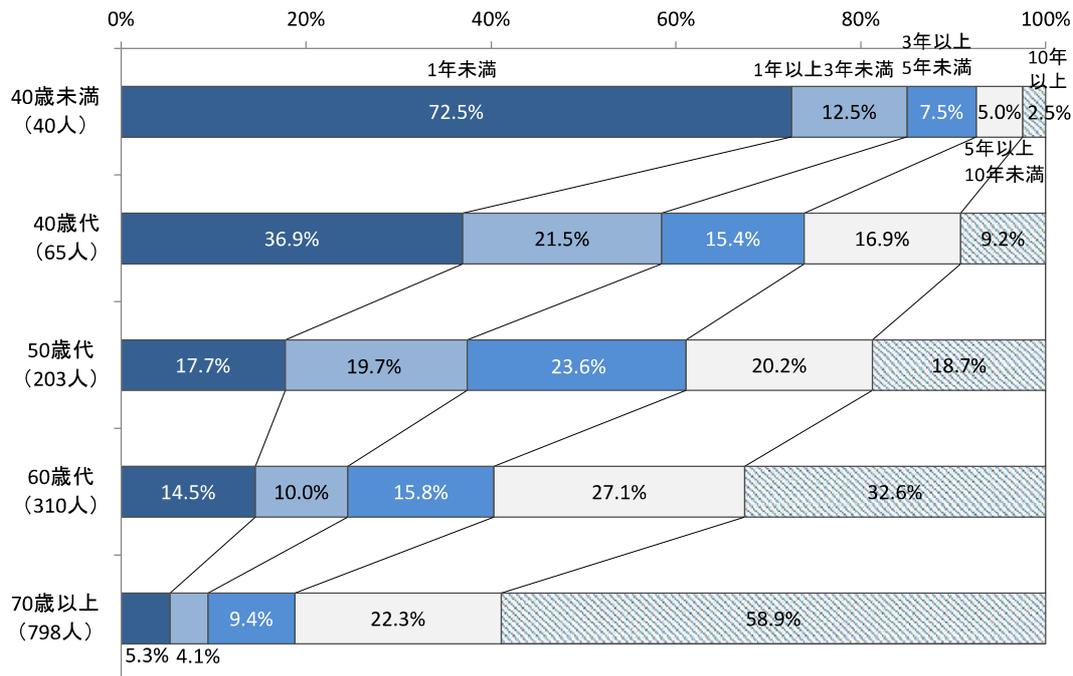


図1-2 山谷地域での居住期間 — 調査年別

「1年未満」の割合が、令和3年調査から2.9ポイント増加している。(9.4%→12.3%)
 「10年以上」の割合も平成30年調査から40.3%→40.6%→43.4%と緩やかに増加している。
 「10年以上」のうち、「20年以上」が全体に占める割合は37.0%で、令和3年度調査から増加して

3 山谷地域での居住期間 — 年齢階級別

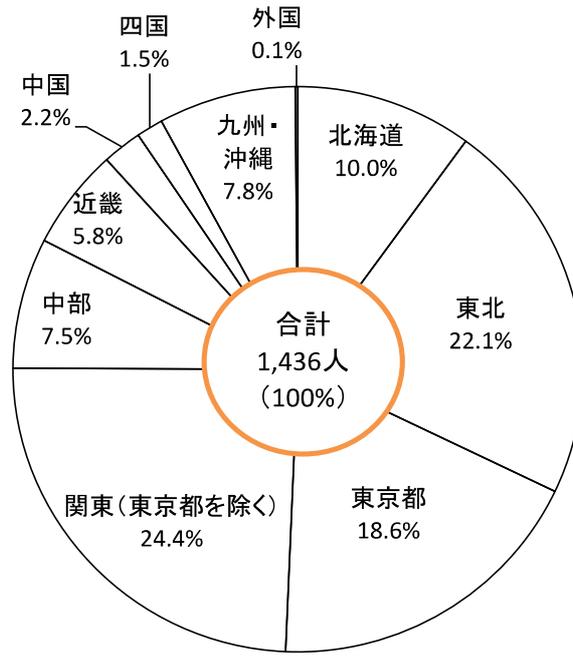


※人数は年齢不明を除く有効回答者数

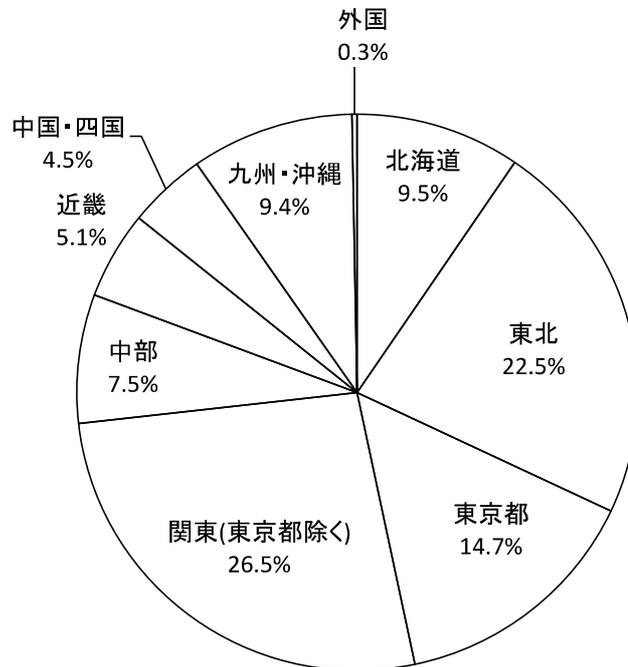
図1-3 山谷地域での居住期間 — 年齢階級別

最も母数の多い「70歳以上」の半数以上(58.9%)が「10年以上」と回答している。

4 出身地



令和6年(2024)



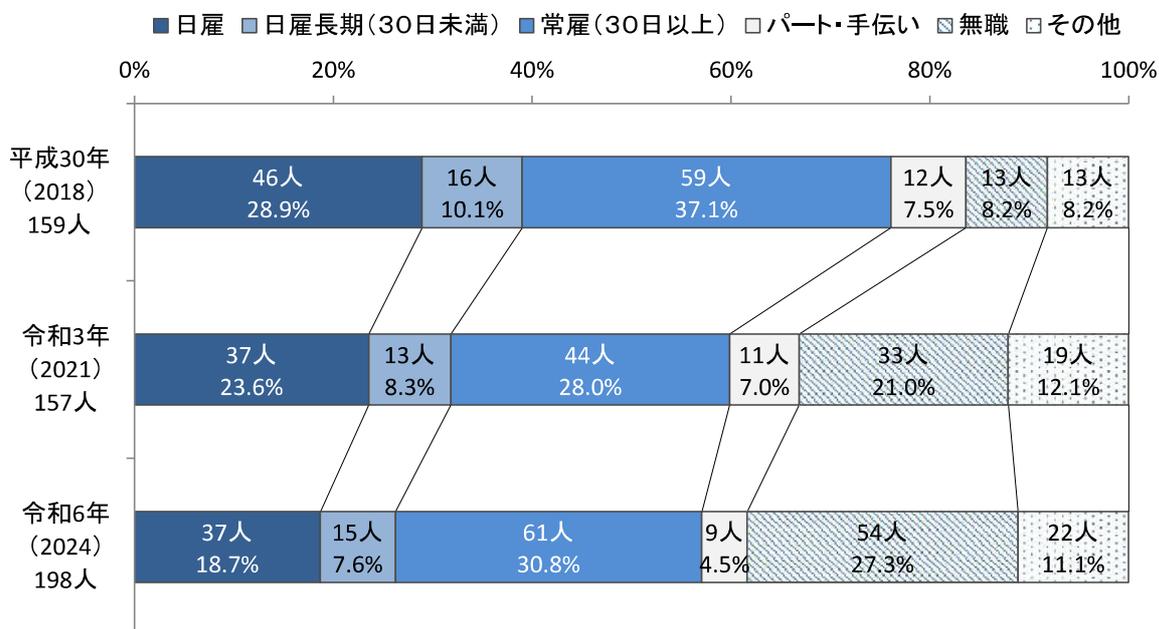
平成3年(1991)

図1-4 出身地

平成3年調査以降、関東から東の地域の出身地が4分の3を占めており、大きな変化は見られない。

2 仕事

1 現在の雇用形態 — 調査年別



※人数は生保受給者を除く有効回答者数

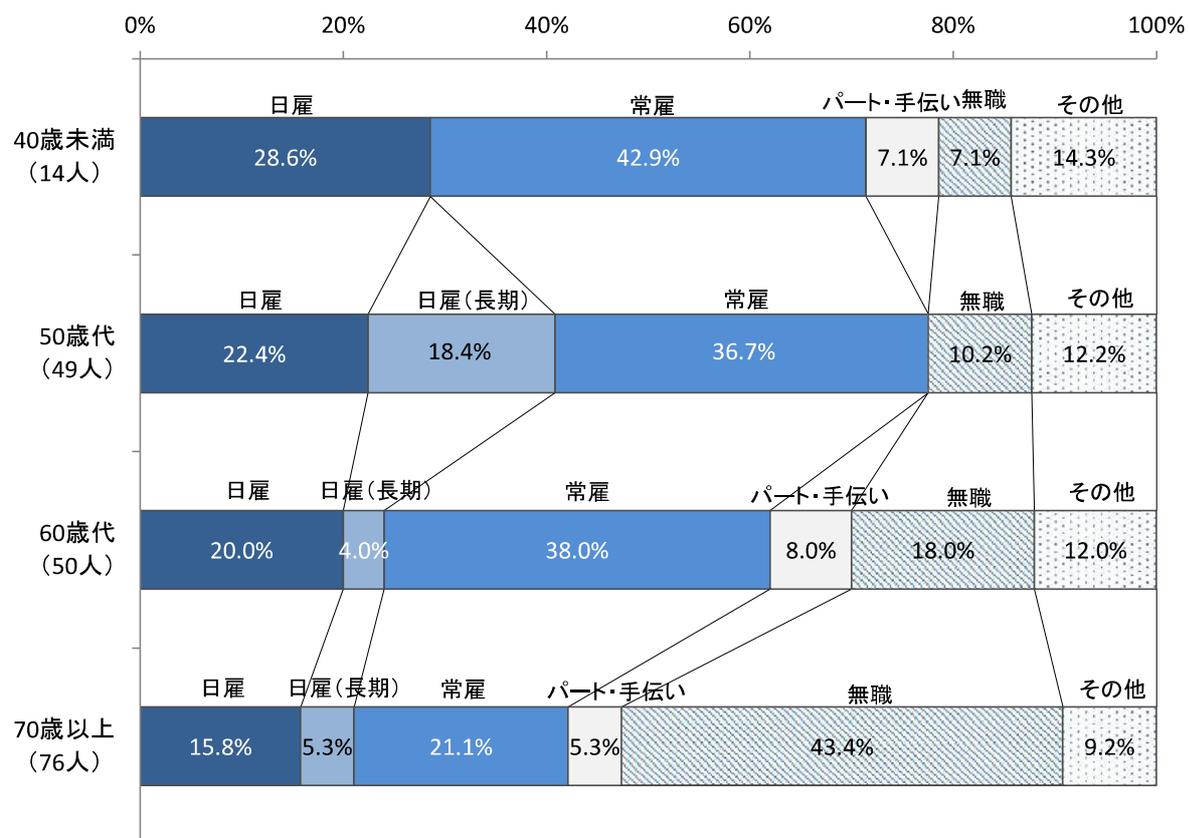
※平成30年調査では、設問に「生活保護受給者は回答不要」と記載した。

※令和6年調査は対象を「現在仕事をしている」と回答した者に絞ったため「無職」の選択肢を削除したが、比較のために便宜上、現在働いていないと回答した人のうち、生活保護受給者を除いた人を「無職」とした。

図2-1 現在の雇用形態 — 調査年別

生活保護受給者(以下「生保」という。)を除く雇用形態は、「常雇(30日以上)」の30.8%と「日雇」及び「日雇長期(30日未満)」の26.3%で約6割を占めている。「無職」の割合は年々増加している。

2 現在の雇用形態 — 年齢階級別

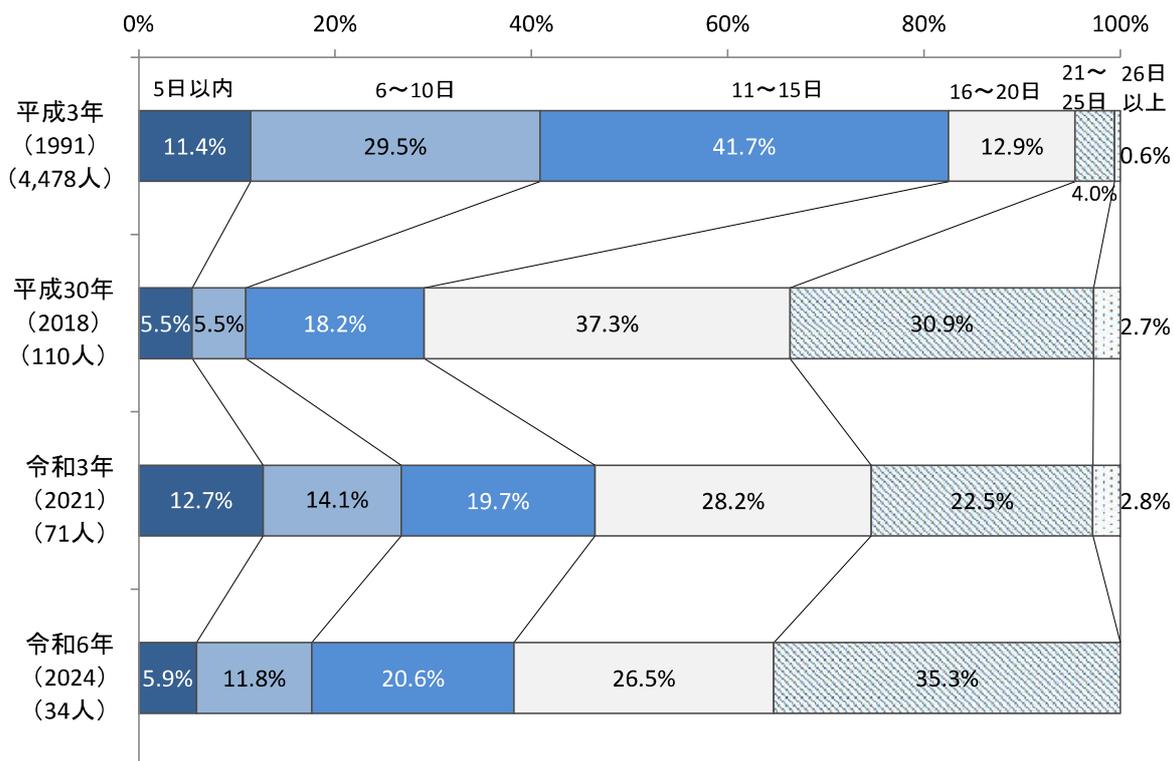


※人数は生保受給者及び年齢不明を除く有効回答者数

図2-2 現在の雇用形態 — 年齢階級別

いずれの年齢層においても、働いている人の雇用形態としては「常雇」の割合が最も多く、年齢が上がるほど「無職」の割合が多くなっている。

3 日雇い・日雇い長期就労日数 — 調査年別



※人数からは平成30年調査以降、生保受給者を除く

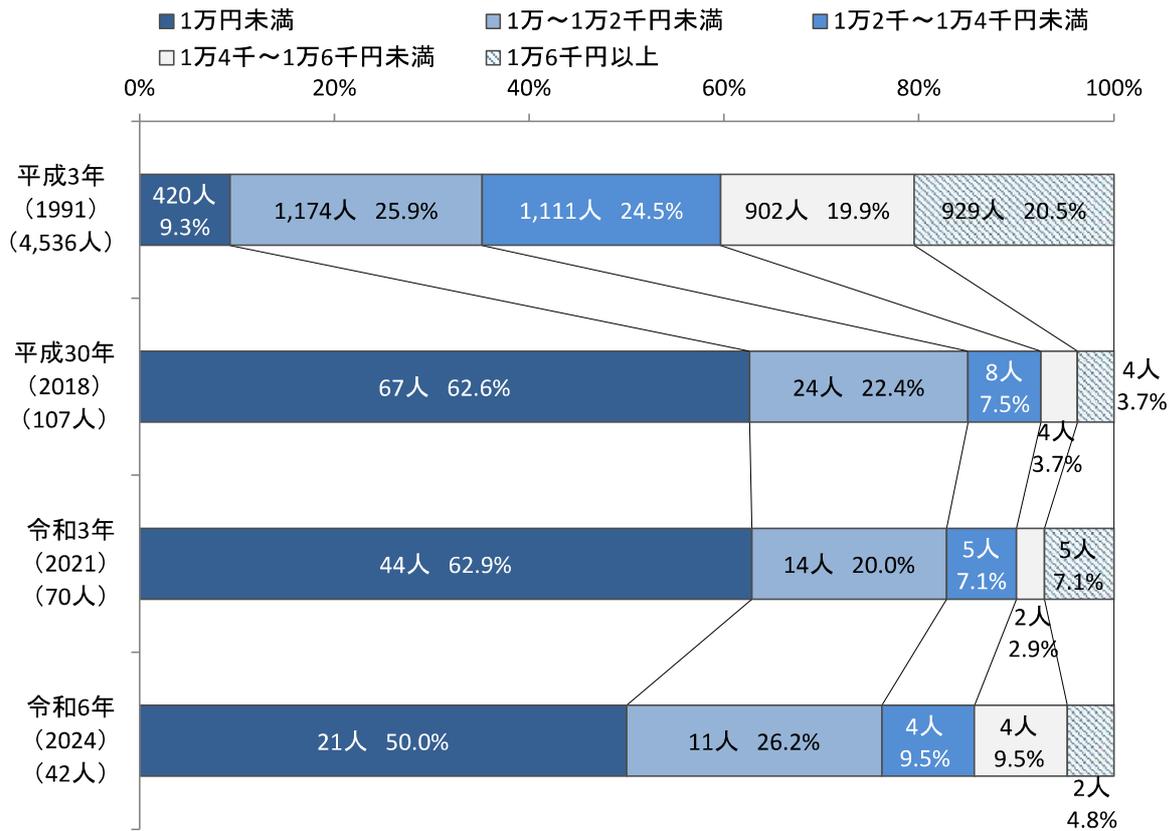
※人数は就労日数を「0日」又は「民間の仕事はしていない」と回答した者を除く有効回答者数

※平成30年調査では、設問に「生活保護受給者は回答不要」と記載した。

図2-3 日雇い・日雇い長期就労日数 — 調査年別

月「21～25日」働く人の割合は35.3%で過去2回と比べて最も高くなっている。
月「16日以上」働く人の割合は61.8%である。

4 日雇い・日雇い長期平均賃金 — 調査年別

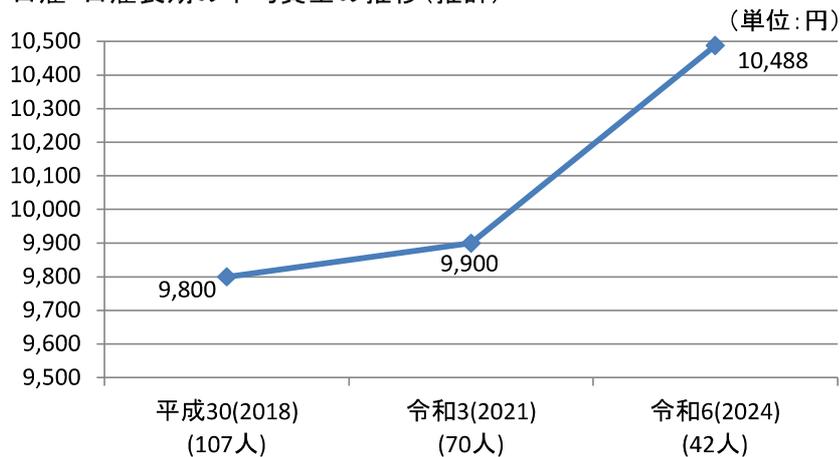


※人数は生保受給者を除く有効回答者数

図2-4 日雇い・日雇い長期平均賃金 — 調査年別

日雇、日雇長期の人の1日当たり平均賃金(特就・アルミ缶等収集を含む)

日雇・日雇長期の平均賃金の推移(推計)

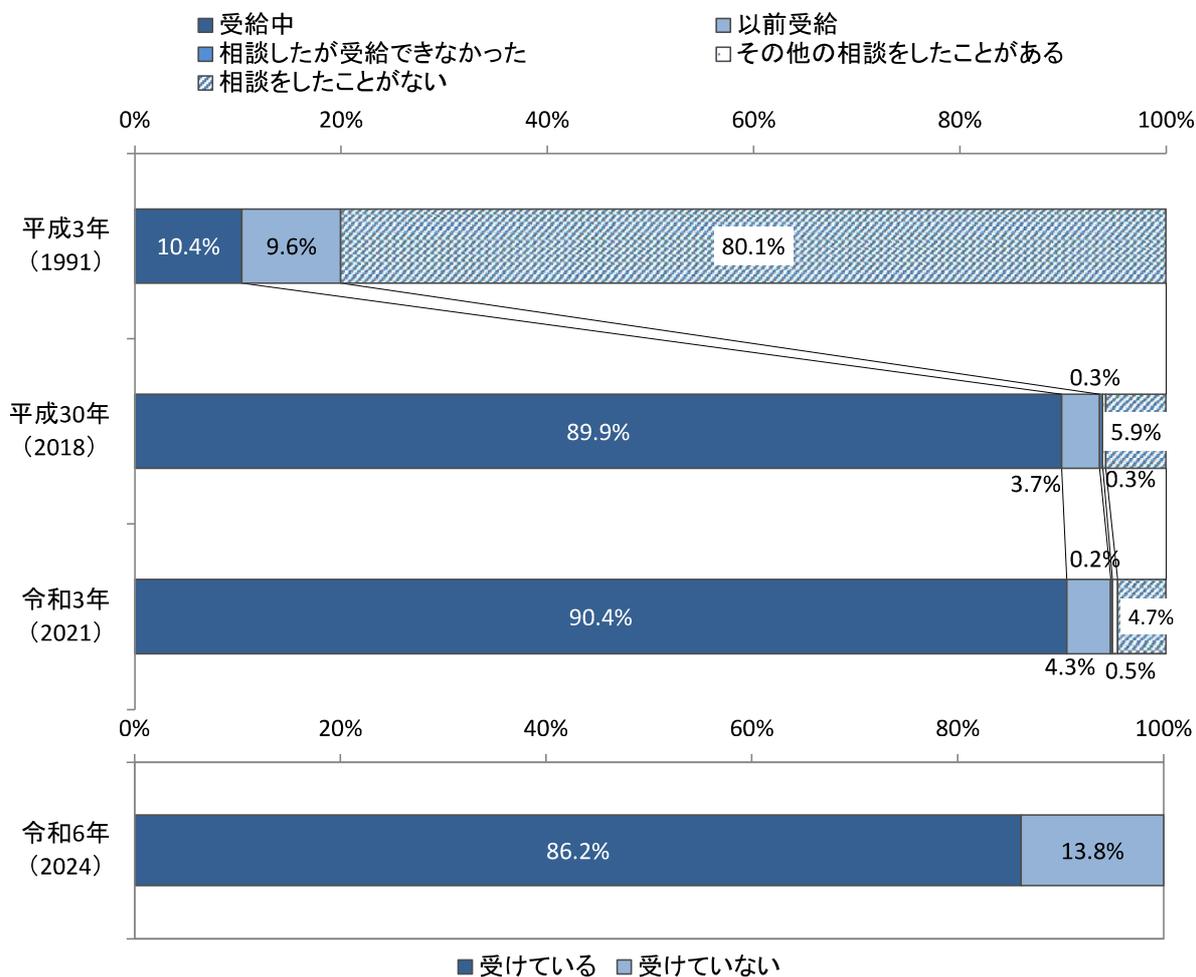


(平均賃金の推計方法)

選択肢の中間値(例:「1万2千～1万4千未満」の場合、「1万3千円」とする。)を各回答者の1日当たり賃金と推計し、その合計額を有効回答者数(42人)で除して算出。

3 生活

1 生活保護受給状況 — 調査年別

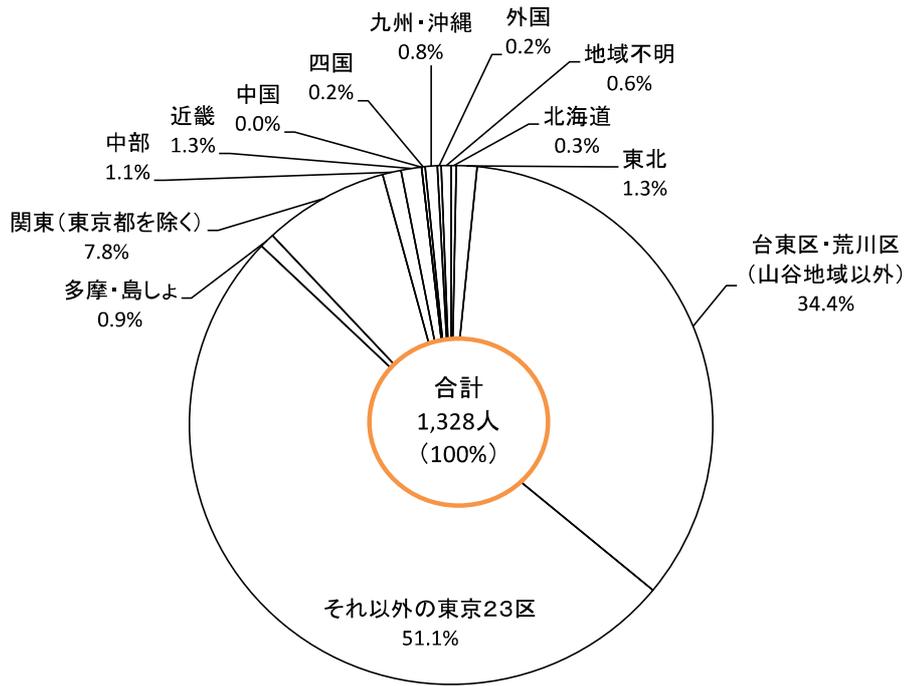


※平成27年、令和6年のタイミングで質問項目変更

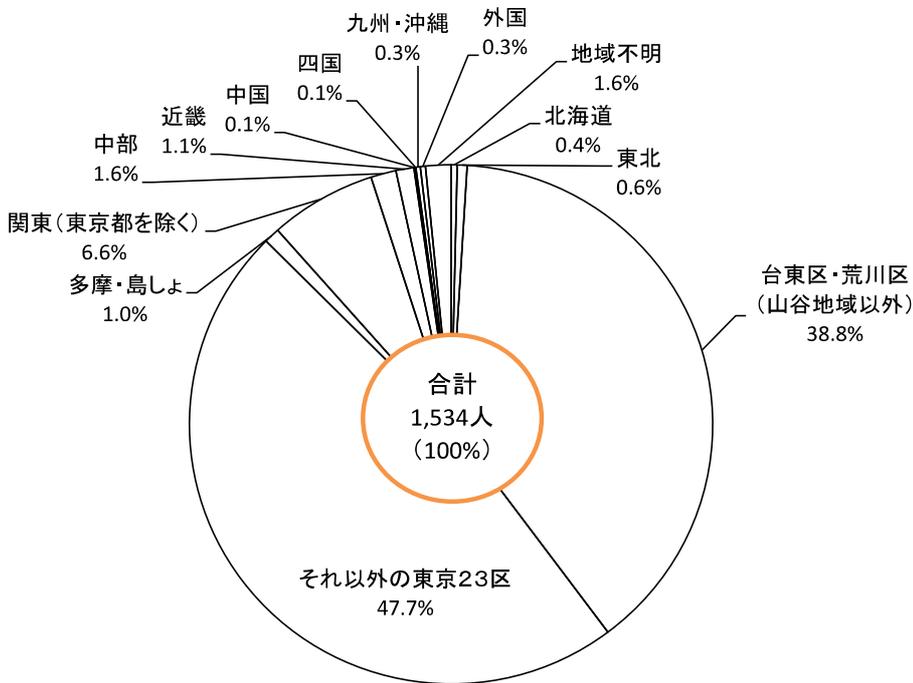
図3-1 生活保護受給状況 — 調査年別

生活保護を「受けている」割合は86.2%となっている。

2 山谷地域に住む前の生活場所



令和6年(2024)



令和3年(2021)

図3-2 山谷地域に住む前の生活場所

山谷地域に住む前の生活場所について、「台東区・荒川区(山谷地域以外)」、「それ以外の東京23区」、「多摩・島しょ」を合わせた『東京』の割合は、86.4%と9割近くを占めており、令和3年と大きな変化は見られない。

3 住民登録 — 調査年別

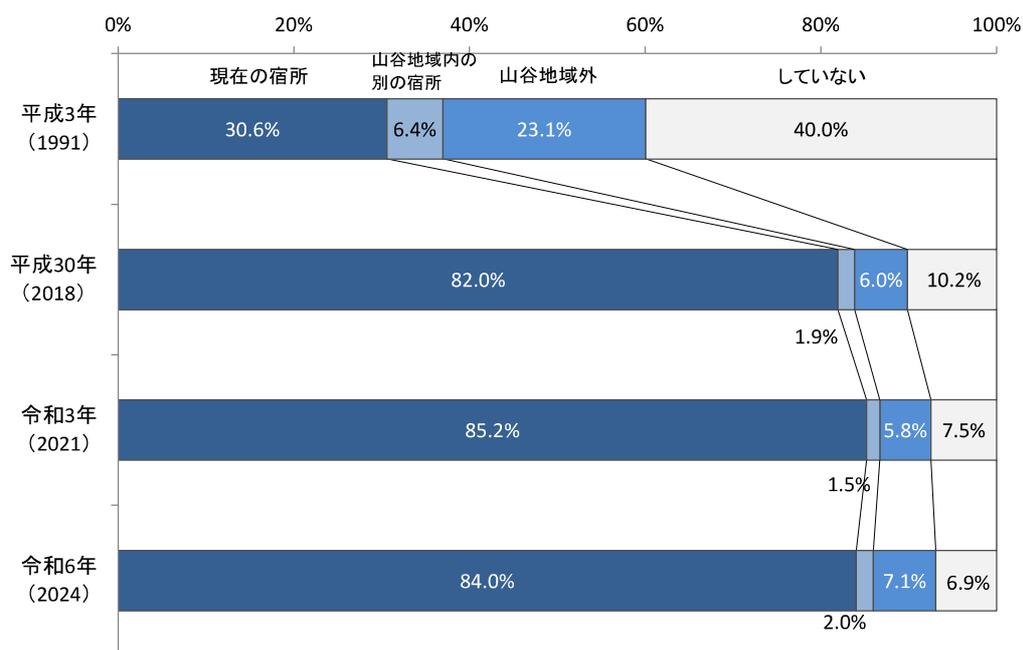
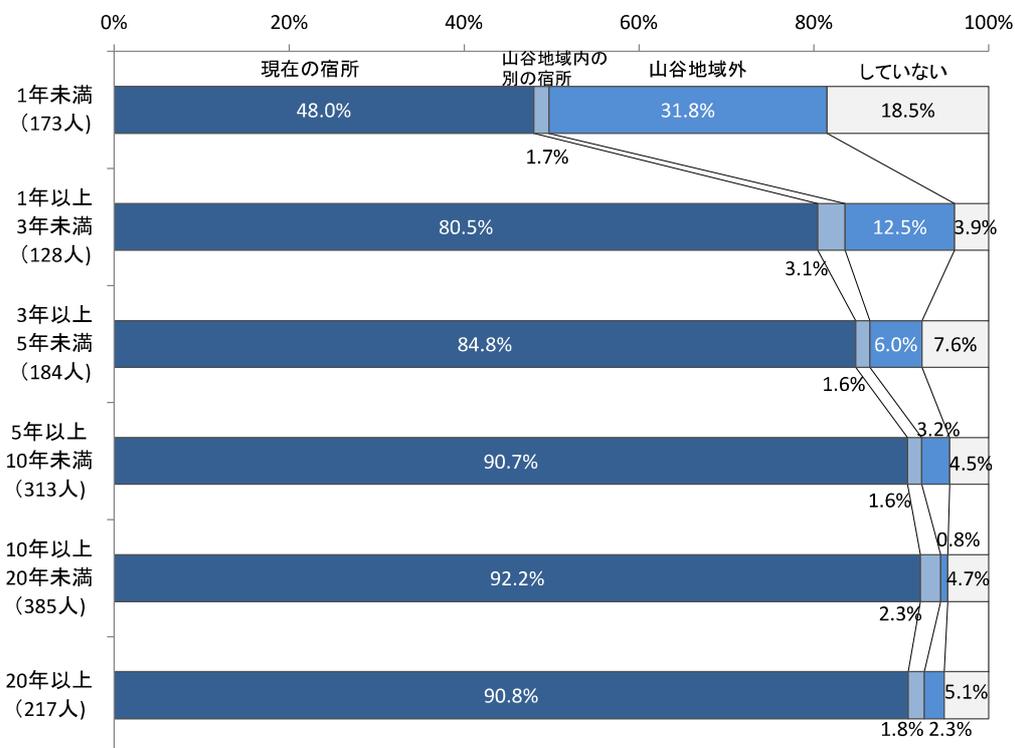


図3-3 住民登録 — 調査年別

「現在の宿所」に登録している人の割合は前回、前々回調査に続き8割を超えている。

4 住民登録 — 山谷地域での居住期間別



※人数は山谷居住期間不明を除く有効回答者数

図3-4 住民登録 — 山谷地域での居住期間別

「現在の宿所」に登録している割合は、概ね山谷地域の居住期間が長いほど高くなっている。

5 1日の食事代(酒を含む) — 調査年別

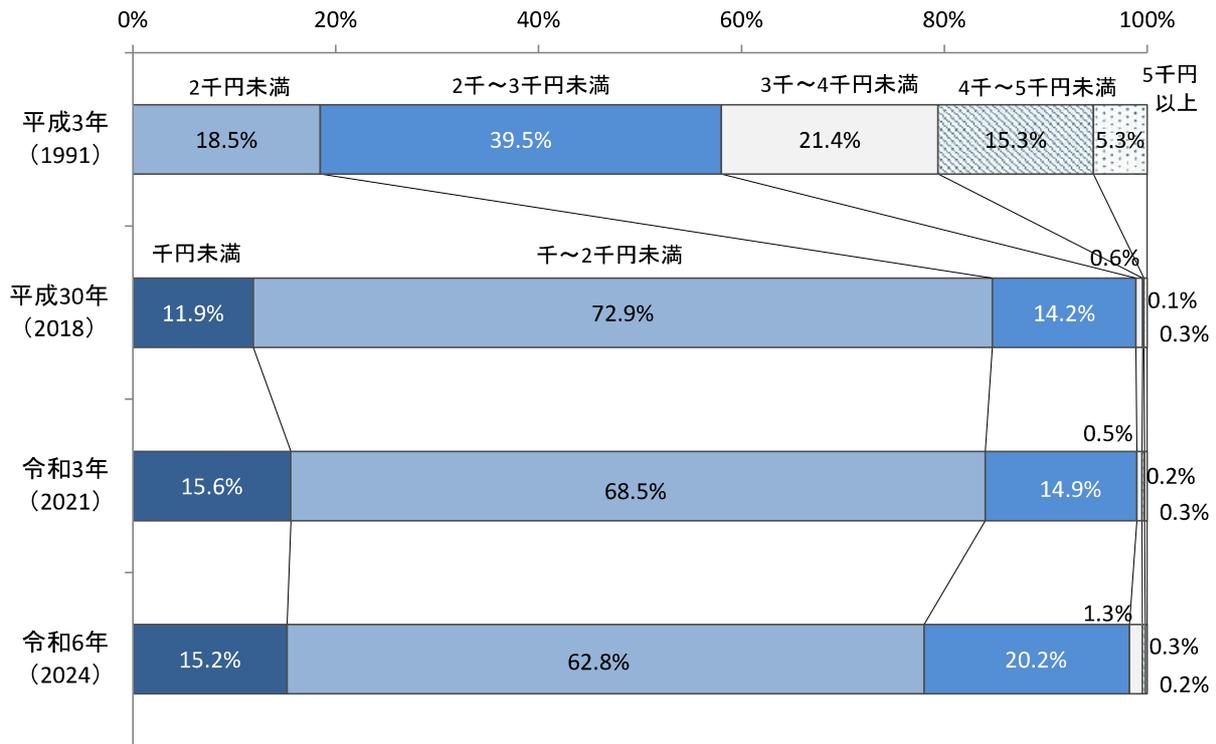
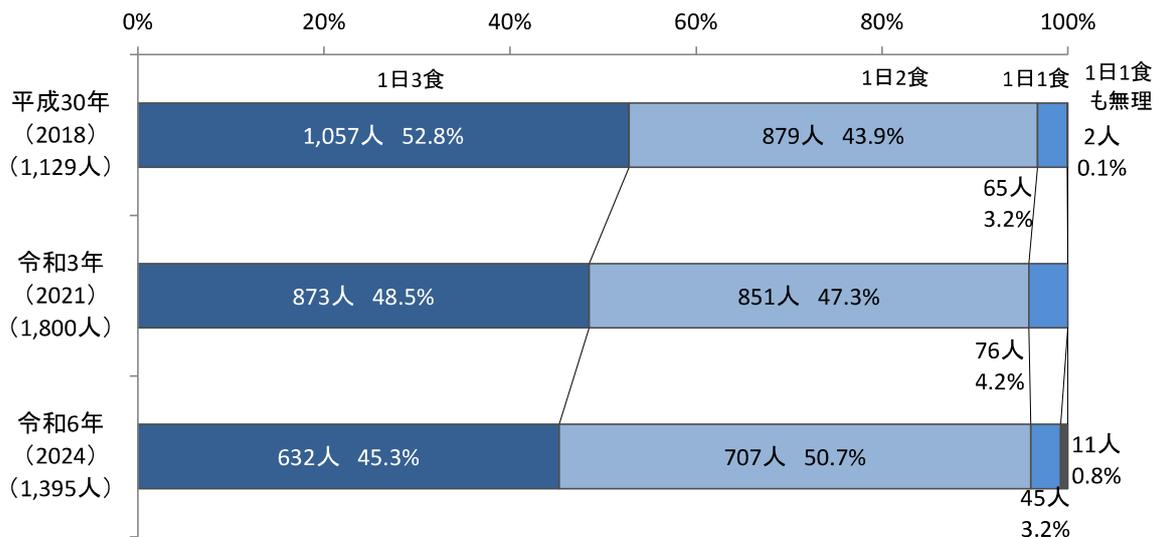


図3-5 1日の食事代(酒を含む) — 調査年別

1日の食事代(酒代を含む)のうち、「2千円未満」の割合は平成30年、令和3年調査では8割超だったのに対し、令和6年調査では78.0%とやや減少している。

6 1日の食事回数 — 調査年別

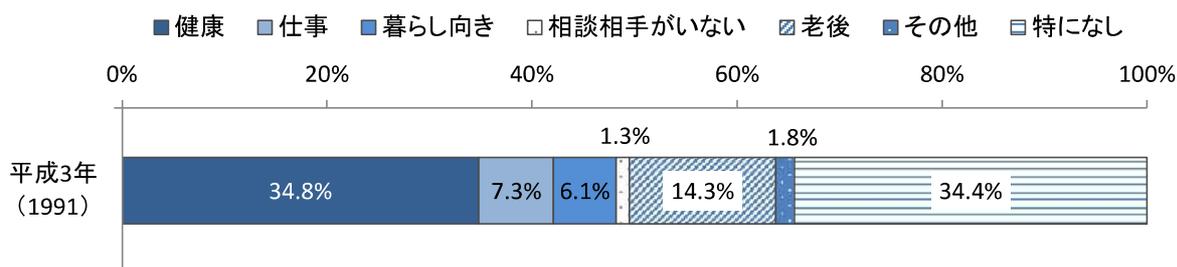


※人数は有効回答者数

図3-6 1日の食事回数 — 調査年別

1日の食事回数は、「1日3食」の割合が年々減少し、「1日2食」の割合が増加している。

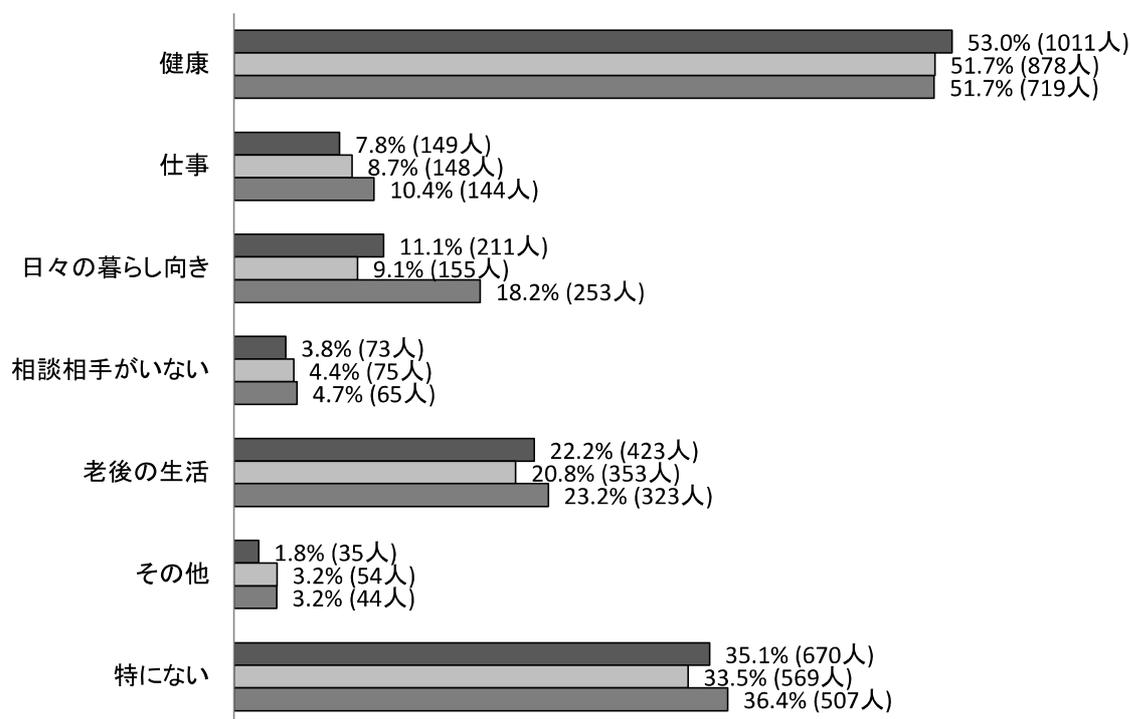
7 いま最も不安に思うこと — 調査年別



平成30年度(2018年)(有効回答者数:1,908人、有効回答数:2,572) <上段>

令和3年度(2021年)(有効回答者数:1,697人、有効回答数:2,232) <中段>

令和6年度(2024年)(有効回答者数:1,391人、有効回答数:2,055) <下段>



※人数は年齢不明を除く有効回答者数

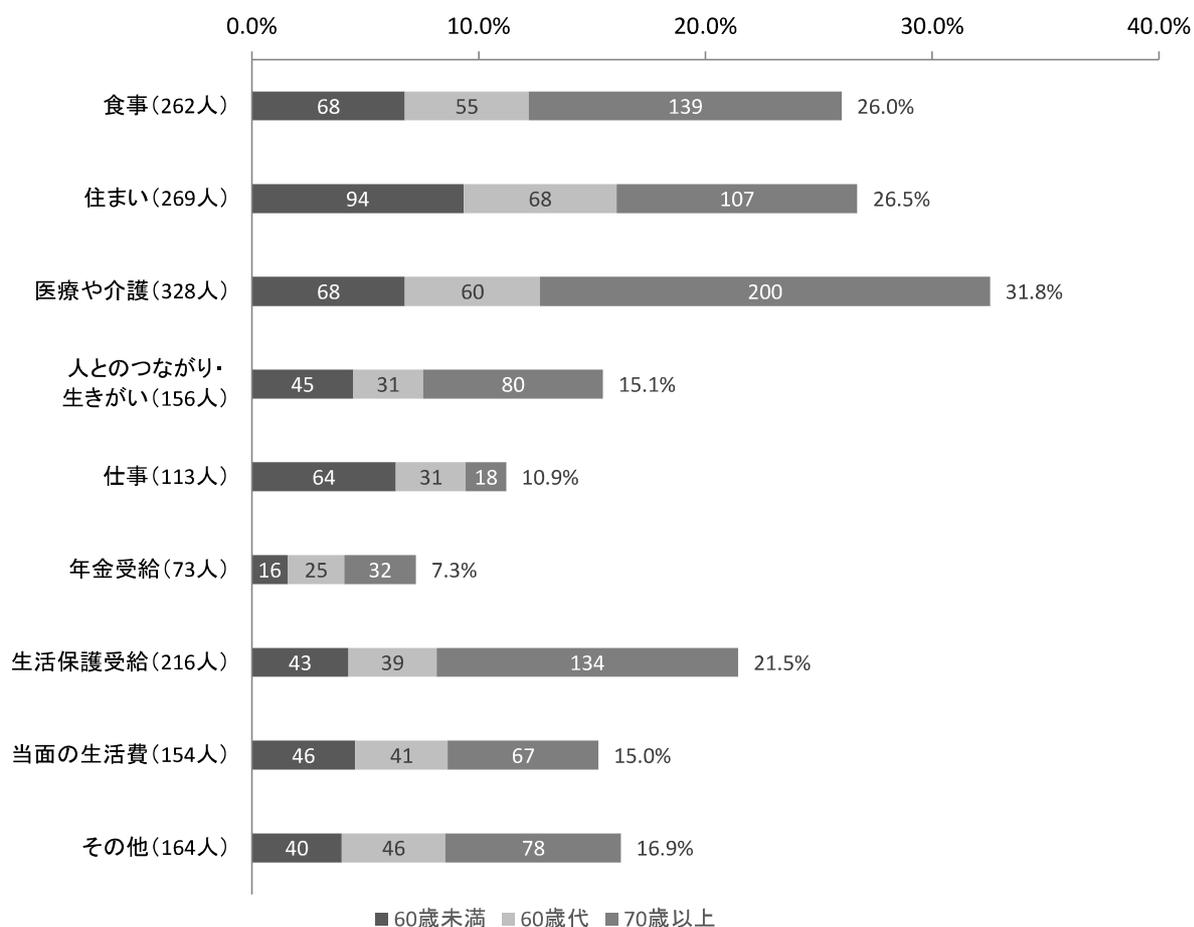
図3-7 いま最も不安に思うこと — 調査年別

平成27年調査から複数回答としている。

仕事に関する不安よりも、健康面や老後の生活に対する不安が多くを占めている。

8 現在必要としている支援 — 年齢階級別

(有効回答者数:1,051人、有効回答数:1,798)



※人数は年齢不明を除く有効回答者数

図3-8 現在必要としている支援 — 年齢階級別

現在必要としている支援は「医療や介護」について答えた人の割合が31.8%と最も多く、その内訳は70代以上が半数以上を占める。

その他「住まい」、「食事」、「生活保護受給」を挙げる回答も20%を超えている。

4 健康

1 健康状態 — 調査年別

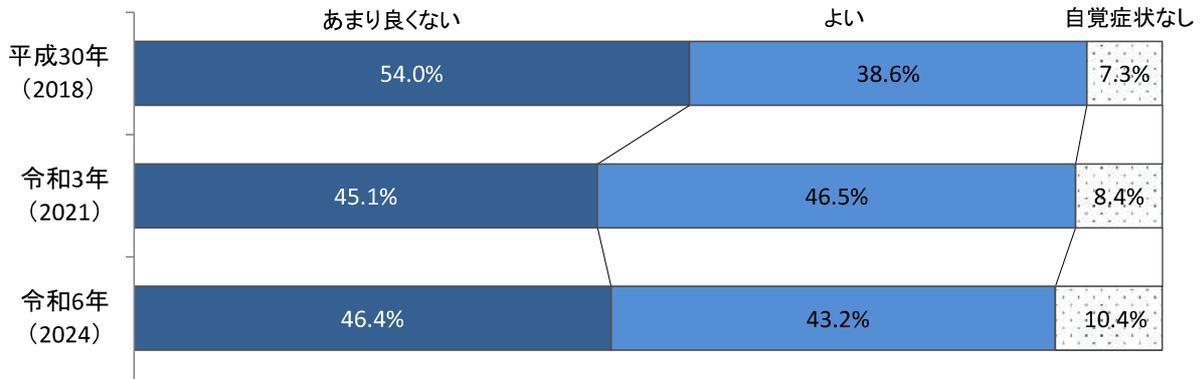


図4-1 健康状態 — 調査年別

健康状態が「あまり良くない」の割合は46.4%となっている。

2 要介護度 — 調査年別

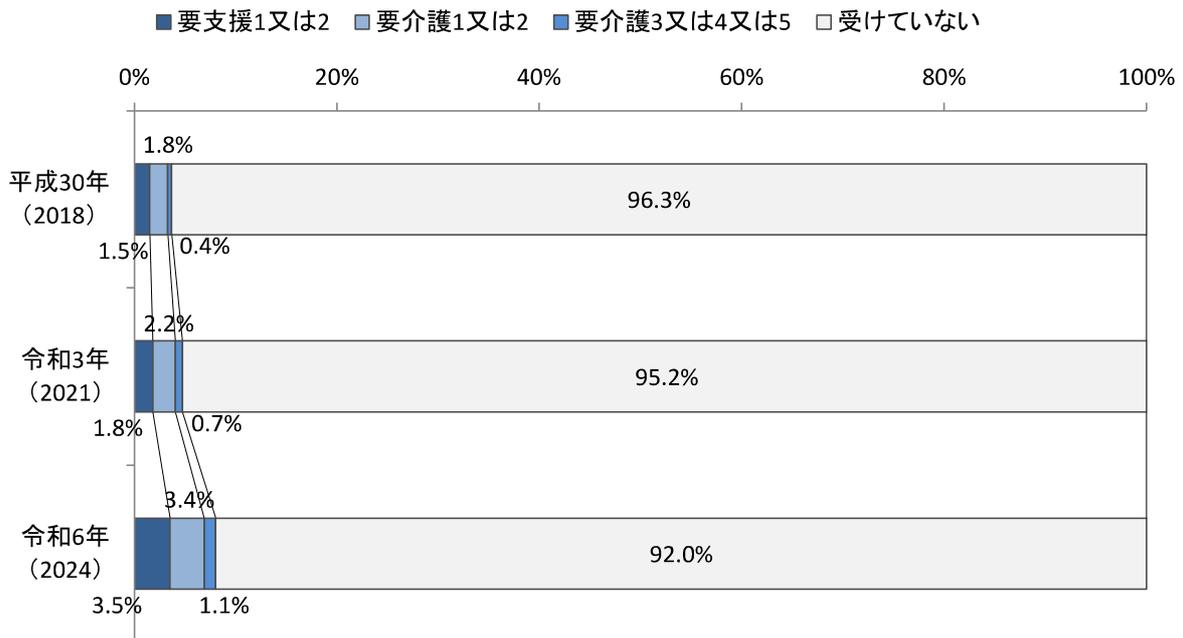
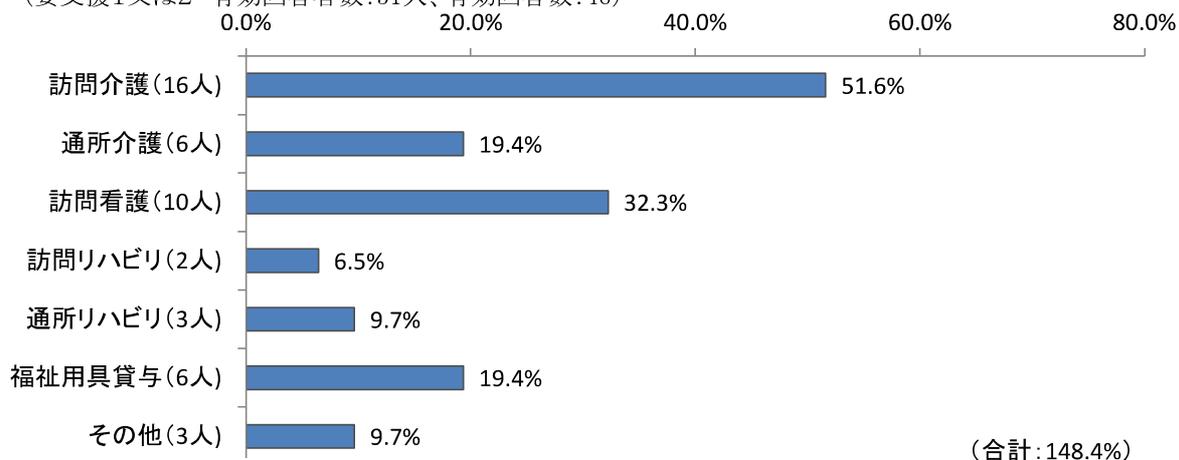


図4-2 要介護度 — 調査年別

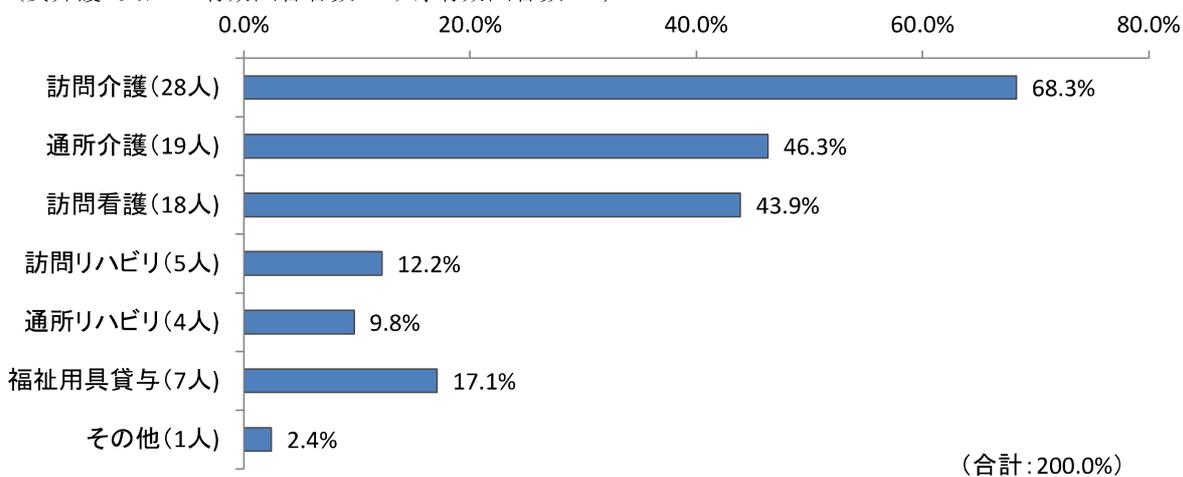
要介護(要支援)認定を受けている人の割合は、8.0%となっており、令和3年調査より「要支援1又は2」、「要介護1又は2」、「要介護3又は4又は5」のいずれにおいても増加している。日常生活上の基本的動作についても、何らかの介護を要する状態であると考えられる「要介護1～5」の割合は、4.5%(63名)であり、増加している。

3 介護サービスの利用

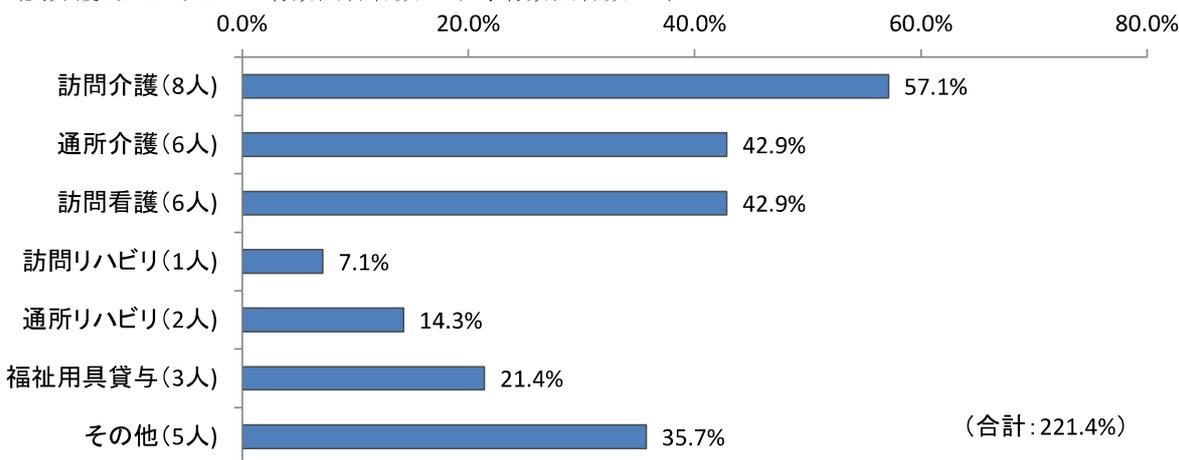
(要支援1又は2 有効回答者数:31人、有効回答数:46)



(要介護1又は2 有効回答者数:41人、有効回答数:82)



(要介護3又は4又は5 有効回答者数:14人、有効回答数:31)



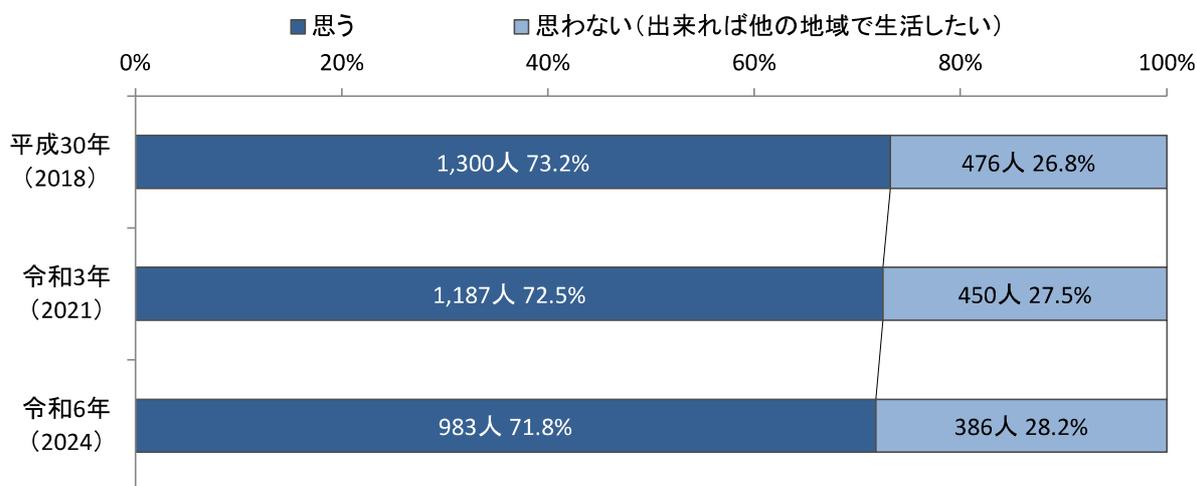
※人数は要介護度不明を除く有効回答者数

図4-3 介護サービスの利用

介護サービスの利用については要介護度に関わらず「訪問介護」の利用が最も多くなっている。また、1人で複数のサービス提供を受けている人もいる。

5 今後希望する生活

1 山谷での生活を続ける意向 — 調査年別

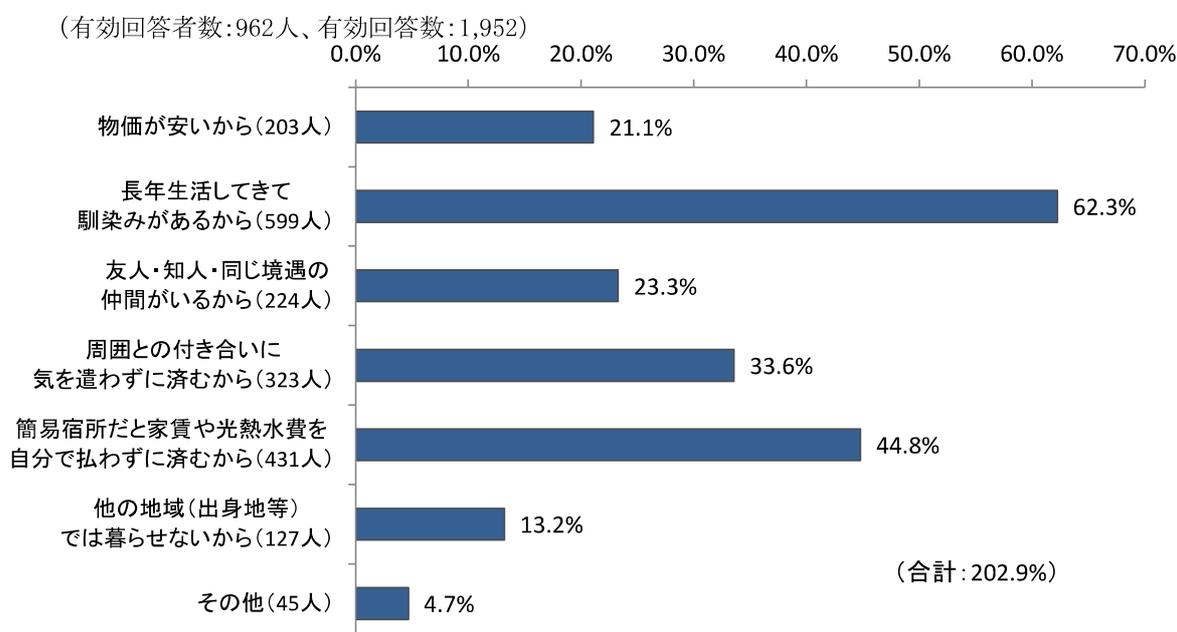


※人数は有効回答者数

図5-1 山谷での生活を続ける意向 — 調査年別

今後も山谷地域で生活したいと思うか質問したところ、71.8%が「そう思う」と回答しており、その割合は過去調査と比較してほぼ変化はない。

2 山谷での生活を続けたい理由 — 年齢階級別

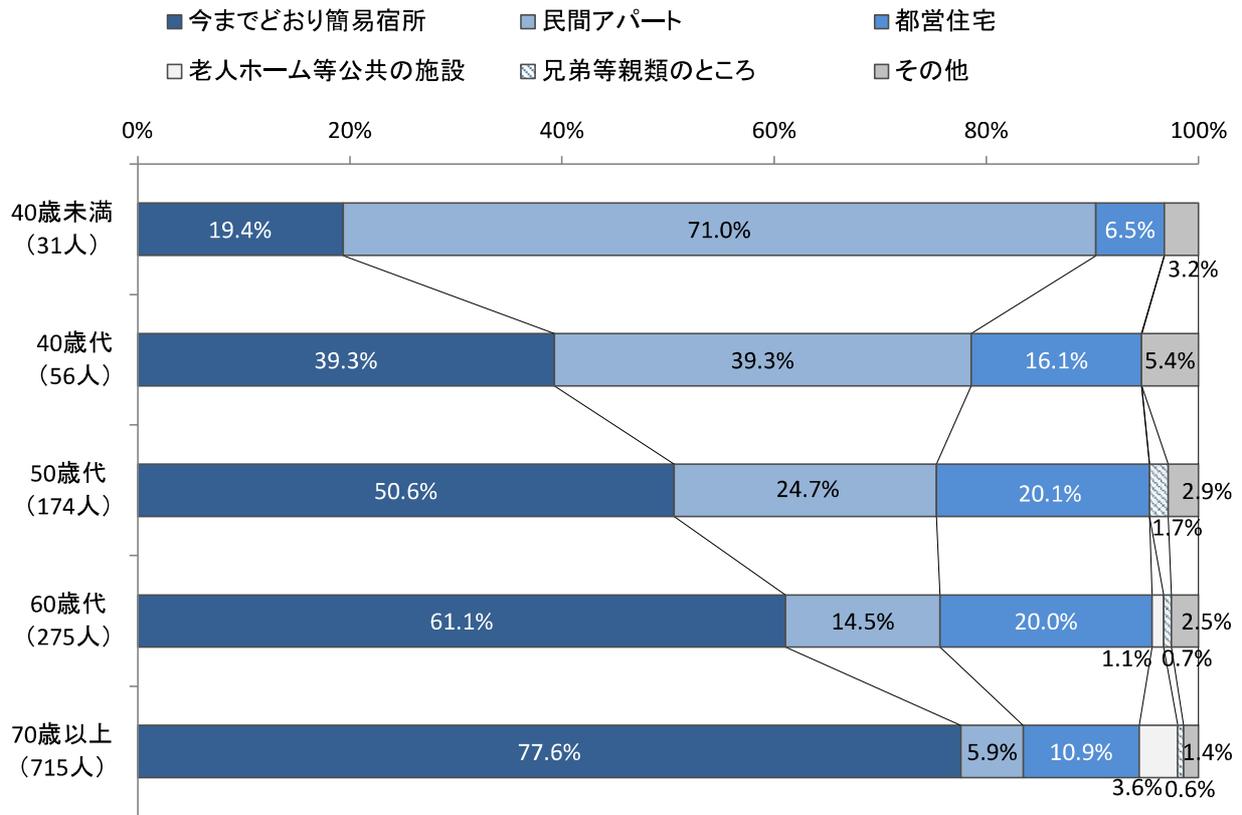


※人数は有効回答者数

図5-2 山谷での生活を続けたい理由 — 年齢階級別

山谷での生活を続けたい理由は、「長年生活してきて馴染みがあるから」が62.3%で最も多く、次に「簡易宿所だと家賃や光熱水費を自分で払わずに済むから」が44.8%と多い。

3 今後希望する住まい — 年齢階級別

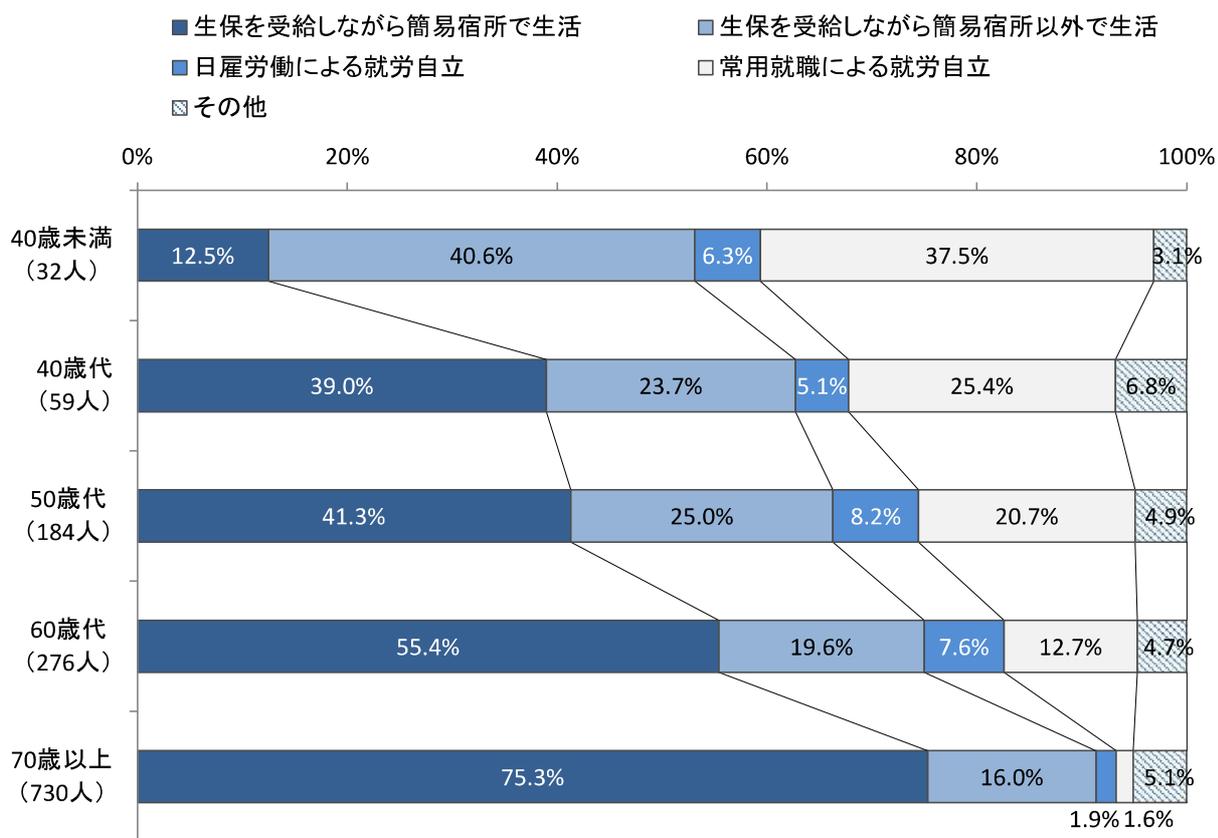


※人数は年齢不明を除く有効回答者数

図5-3 今後希望する住まい — 年齢階級別

年齢が上がるにつれて「今までどおり簡易宿所」を望む割合が増加し、70代以上では77.6%である。一方、「民間アパート」を望む割合は40歳未満では71.0%であり、年齢が上がるにつれて減少している。

4 今後希望する生活 — 年齢階級別



※人数は年齢不明を除く有効回答者数

図5-4 今後希望する生活 — 年齢階級別

「常用就職による就労自立」を希望する割合は年齢階級が高くなるにつれて減少している一方で、「生保を受給しながら簡易宿所で生活」を希望する割合は増加している。
また、40代未満では最多が「生保を受給しながら簡易宿所以外で生活」(40.6%)、次いで「常用就職による就労自立」(37.5%)となっている。

生活実態調査票 (令和6年度)

Questionnaire to the lodgers at lodging facilities in Sanya area(2024)

生活実況調査表 (2024)

この調査は、山谷対策の資料とするため、みなさんの生活実態と今後の生活等についてお聞きするものです。お名前や住所の記入はいたしません。当ではまる回答欄の数字を○で囲んでください。

いくつか該当する場合は、主なものをひとつ選んでください。間違えて記入した場合は×をつけて、正しい数字を○で囲んでください。よろしくご協力をお願いいたします。

This questionnaire is aimed to investigate the actual conditions of the lodgers at lodging facilities in Sanya Area in order to make use for measures for the Sanya Area carried out by TMG. You don't have to write your name or your address. **Please circle the appropriate number. Please choose number that most fits you if you have two of three answer. If you make a mistake and circle the wrong number, please mark an X on it and circle the correct number.** We would like your help with this questionnaire.

这个调查，是为作山谷对策的资料，为此向各位询问生活实况和今后的生活等状况。不需要记名和写住址。请在回答栏中选择符合的数字画圈。如有几个项目符合时，请选择主要的一项。如果写错时，请在错处画×，在正确的数字上画圈。请给与协助。

※1～3のいずれかを○で囲んでください。
Please circle the number which applies to you.

調査票通し番号 serial number 序列号
(記入不要 no need to fill out 无需填写)

| 問番 No | 質問 Question 問題 | | 回答 Answer | | 回答 回答 |
|----------|--|---|--------------|---|----------|
| 0 | <p>あなたは次のどれに該当しますか</p> <p>Which statement does fit you?</p> <p>您符合3项中的哪一项？</p> | <p>1 外国人で旅行又はビジネス等で宿泊している。</p> <p>I'm a foreigner and staying here for tourism or business.</p> <p>外国人，是旅行或工作等，在此住宿。</p> | ➔ | <p>2ページにのみお答えください。</p> <p>Please answer question only 1 to 9 on page 2.</p> <p>只请回答第2页的1至9项。</p> | |
| | | <p>2 日本人で旅行又はビジネス等で宿泊している。</p> <p>I'm Japanese and staying here for tourism or business.</p> <p>日本人，是旅行或工作等，在此住宿。</p> | ➔ | <p>2ページにのみお答えください。</p> <p>Please answer question only 1 to 9 on page 2.</p> <p>只请回答第2页的1至9项。</p> | |
| | | <p>3 上記の1、2 以外の目的で宿泊している。</p> <p>Others</p> <p>上述的1、2项以外的人，在此住宿。</p> | ➔ | <p>3ページからのすべての問いにお答えください。</p> <p>Please answer all the questions from page 3.</p> <p>第3页以后的，请全部回答。</p> | |

旅行・ビジネス等で宿泊している方への質問

Question to the lodgers who are staying for tourism or business

向旅行・工作等在此住宿的客人询问

このページは、1ページの質問に 1 または 2 と回答した方のみが回答してください。

Please answer these questions if you choose 1 or 2 at question 0 on page 1.

这一页，请在第一页中回答了 1 或 2 的人来回答。

| 問番 No. | 質問 Question 問題 | 回答 Answer 回答 |
|--------|---|---|
| 1 | お住まいは Residence 住在哪里 | 1 外国人の方 Foreigner 外国人 国名 Nationality 国名 _____ 2 日本人の方 Japanese 日本人 都道府県名 Prefecture 都道府県名 _____ |
| 2 | 性別は Sex 性別 | 1 男性 Male 男性 2 女性 Female 女性 3 その他 Others 其他 |
| 3 | 年齢(令和6年10月1日現在) Age (as of 1 October) 年齢 (2024年10月1日現在) | 1 39歳以下 Under 40 years old 40岁以下 2 40～59歳 40 to 59 years old 40至59岁 3 60歳以上 60 years old and above 60岁及以上 |
| 4 | 宿泊の目的は Purpose of your stay 住宿的目的 | 1 観光・旅行 Sightseeing, Tourism 観光・旅行 2 ビジネス等の用務 Business 工作等事务 3 その他 Others 其他 () |
| 5 | 宿泊場所に選んだ理由 Reason of choosing 选择此住宿处的理由 | 1 宿泊料が安い Low-price of hotel charge 住宿费廉价 2 交通の便が良い Convenience of transportation 交通方便 3 その他 Others 其他 () |
| 6 | 宿泊期間は How long are you going to stay here? 住宿日数 | 1 1泊～2泊 one or two days 1宿～2宿 2 3泊～4泊 three or four days 3宿～4宿 3 5泊～9泊 from five to nine days 5宿～9宿 4 10日～1ヶ月以内 from ten days to a month 10天～1个月以内 5 1か月以上 over a month 1个月以上 |
| 7 | 同行者はいるか Are you staying here alone or with somebody? 有同伴者吗? | 1 いる with somebody 有 2 いない alone 没有 |
| 8 | この宿泊施設に泊まるのは初めてか Is this your first stay at this lodging facility? 此住宿处是第1次吗? | 1 今回が初めての宿泊 Yes (for the first time) 这次是第1次住宿 2 以前に宿泊したことがある No (have stayed here before) 以前住过 |
| 9 | この宿泊施設を知ったのは How do you came to know this lodging facility? 此住宿处是怎么知道的 | 1 インターネット website 网络 2 観光雑誌 tourist magazine 観光杂志 3 新聞 newspaper 报纸 4 テレビ・ラジオ television or radio 电视・收音机 5 知人・友人からの紹介 introduction from your friend 熟人・朋友介绍的 6 その他 Others 其他 () |

旅行・ビジネス等で宿泊している方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

That concludes the questions for those staying for travel or business purposes. Thank you for your cooperation.

以上是针对旅行或商务住宿者的提问。感谢您的合作。

| 質問 | 回答 | | |
|--|---|--|------------------------------|
| 問 8-1 健康状態はどうか | 1 良い | 2 あまり良くない (→ 問8-2 へ) | 3 自覚症状なし |
| 問 8-2 問8-1で「2」を選んだ方のみ回答 病気又は悪い部位はどこですか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 風邪 2 循環器系疾患 (高血圧、心疾患等) 3 消化器系疾患 (胃、肝臓等) 4 糖尿病・痛風 5 結核 6 関節痛・腰痛 7 皮膚疾患 (湿疹、じん麻疹、水虫、虫刺され) | 8 歯の疾患 9 視聴覚器の疾患 10 精神障害 11 不眠 12 依存症 (アルコール、薬物) 13 その他 () | |
| 問 9 病気又は体の調子が良くないときはどうしていますか。 | 1 医療機関へ行く 2 城北労働・福祉センター健康相談室 3 福祉事務所に相談 4 山友会に相談 | 5 市販薬を使う 6 安静・自然に治るのを待つ 7 その他 () | |
| 問 10-1 要介護認定は受けていますか (受けている方は、要介護度はいくつですか) | 1 受けていない 2 要支援1~2 (→ 問10-2 へ) | 3 要介護1~2 (→ 問10-2 へ) 4 要介護3~5 (→ 問10-2 へ) | |
| 問 10-2 問10-1で「2~4」を選んだ方のみ回答 要介護認定を受けている方は、どのような介護サービスを利用していますか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 サービスは利用していない 2 訪問介護 (ホームヘルプ) 3 通所介護 (デイサービス) 4 訪問看護 | 5 訪問リハビリ 6 通所リハビリ (デイケア) 7 福祉用具貸与 (車いす、杖など) 8 その他 () | |
| 問 11 身体障害者手帳は持っていますか (持っている方は、等級はいくつですか) | 1 持っていない 2 1、2級を持っている | 3 3、4級を持っている 4 5、6級を持っている | |
| 問 12 収入はありますか (生活保護を含む) 収入がある方は、一番多い収入源を 1つ 選んでください | 1 ない 2 ある (生活保護費) 3 ある (就労) | 4 ある (年金) 5 ある (各種手当) 6 ある (その他:) | |
| 問 13 食事は1日何回食べていますか | 1 1日3食以上 2 1日2食 | 3 1日1食 4 1日1食も無理 | |
| 問 14 食事はどのように調達していますか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 コンビニやスーパーで弁当を購入 2 食堂等で外食 3 炊出し 4 賞味期限切れの食品を調達 | 5 差し入れ 6 城北労働・福祉センターの給食援護 7 食材を買って自炊 8 その他 () | |
| 問 15 1日の食事代 (酒を含む) は平均でいくらですか | 1 999円以下 2 1,000~1,499円 3 1,500~1,999円 | 4 2,000~2,499円 5 2,500~2,999円 6 3,000~3,999円 | 7 4,000~4,999円 8 5,000円以上 |
| 問 16-1 あなたは現在、生活保護を受けていますか | 1 受けている (→ 問16-2 へ) 2 受けていない (→ 問16-3 へ) | | |

| 質問 | 回答 | | |
|--|---|---------------------------------|--|
| 問 20-1 あなたは城北労働・福祉センターの 娯楽室を利用していますか | 1 はい | 2 いいえ (→ 問20-2へ) | |
| 問 20-2 問20-1で「2」を選んだ方のみ回答 あなたが娯楽室を利用しない理由は 何ですか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 娯楽室があることを知らないから 2 他に日中に行くところがあるから 3 落ち着いて利用できる雰囲気ではないから 4 自分に合った娯楽の設備がないから 5 その他 () | | |
| 問 21-1 あなたは城北労働・福祉センターの 寄せ場と娯楽室で行っている健康相談を 利用していますか | 1 はい | 2 いいえ (→ 問21-2へ) | |
| 問 21-2 問21-1で「2」を選んだ方のみ回答 あなたが健康相談を利用しない 理由は何ですか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 健康相談を実施していることを知らないから 2 健康に問題はなく、相談する必要がないから 3 自分の体調を他人に知られたくないから 4 相談しても自分の体調が良くなると思えないから 5 相談時間と自分の都合が合わないから 6 その他 () | | |
| IV 就労について | | | |
| 問 22 あなたは現在含めこれまでに 日雇いの仕事をしたことがありますか | 1 はい | 2 いいえ | |
| 問 23-1 あなたは現在仕事をしていますか | 1 はい (→ 問23-2へ) | 2 いいえ | |
| 問 23-2 問23-1で「1」を選んだ方のみ回答 あなたが現在している仕事の形態は 何ですか 最も当てはまるものを1つ選んでください | 1 日雇い 2 日雇い長期 (30日未満) 3 常雇い (30日以上) 4 パート・手伝い 5 その他 () (→ 問23-3、問23-4、問23-5、問23-6へ) | | |
| 問 23-3 問23-2で「1～2」を選んだ方のみ回答 あなたは1か月間に、平均で何日くらい 輪番 (特別就労対策事業) の仕事を していますか | 1 輪番の仕事はしていない 2 2日以下 3 4日以下 | 4 6日以下 5 10日以下 6 それ以上 () | |
| 問 23-4 問23-2で「1～2」を選んだ方のみ回答 あなたはどこで仕事の紹介を 受けていますか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 城北労働・福祉センター 2 玉姫・河原町労働出張所 3 手配師 (求人担当者) 4 親方 5 仕事をしたことのある会社からの連絡 6 縁故・友人 7 仕事先と面接 8 新聞・雑誌等の求人欄 9 インターネット 10 その他 () | | |
| 問 23-5 問23-2で「1～2」を選んだ方のみ回答 あなたは民間事業所で1か月間に平均で 何日くらい働いていますか (輪番は除く) | 1 民間の仕事はしていない 2 1～5日 3 6～10日 4 11～15日 5 16～20日 6 21～25日 7 26日以上 | | |
| 問 23-6 問23-2で「1～2」を選んだ方のみ回答 あなたの1日の平均賃金はどのくらいです | 1 6,999円以下 2 7,000～7,999円 3 8,000～8,999円 4 9,000～9,999円 5 10,000～10,999円 6 11,000～11,999円 7 12,000～13,999円 8 14,000～15,999円 9 16,000円以上 | | |

| 質問 | 回答 |
|---|--|
| V 年金・保険について | |
| 問 24 あなたは年金を受給していますか (受給している場合、1回の振込額は いくらですか) | 1 いいえ 2 はい(99,999円以下) 3 はい(100,000円～149,999円) 4 はい(150,000円～199,999円) 5 はい(200,000円以上) |
| 問 25 あなたは健康保険に加入していますか | 1 加入している 2 加入していないが、生活保護で医療を受けている 3 加入しておらず、生活保護も受けていない |
| VI 今後の生活について | |
| 問 26-1 あなたは今後も山谷地域で生活 (住む、仕事、買い物)したいと思います | 1 思う(→問26-2へ) 2 思わない(できれば他の地域で生活したい) |
| 問 26-2 問26-1で「1」を選んだ方のみ回答 あなたが今後も山谷地域で生活したいと 思う理由は何ですか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 物価が安いから 2 長年生活してきて馴染みがあるから 3 友人・知人・同じ境遇の仲間がいるから 4 周囲との付き合いに気を遣わずに済むから 5 簡易宿所だと家賃や光熱水費を自分で払わずに済むから 6 他の地域(出身地等)では暮らせないから 7 その他() |
| 問 27 あなたは今後、どのような住まいで 生活したいですか | 1 今までどおり簡易宿所 2 民間アパート 3 都営住宅 4 老人ホーム等公共の施設 5 兄弟等親類のところ 6 その他() |
| 問 28-1 あなたは都営住宅の入居募集に 申し込んだことがありますか | 1 申し込んで当選し、入居したことがある 2 申し込んだことはあるが、落選した 3 申し込んだことがない(→問28-2へ) |
| 問 28-2 問28-1で「3」を選んだ方のみ回答 あなたが都営住宅の入居募集に 申し込んだことがない理由は何ですか | 1 募集していることを知らないから 2 現在の部屋で特に問題ないから 3 仕事先や病院が変わることに 抵抗があるから 4 身体機能の面から一人で生活が できるか不安だから 5 入居後の手続きや人間関係に 不安があるから 6 その他() |
| 問 29 あなたは今後どのような生活を望みますか | 1 生活保護を受給しながら簡易宿所で生活したい 2 生活保護を受給しながら簡易宿所以外で生活したい 3 日雇労働により就労自立したい 4 常用就職により就労自立したい 5 その他() |
| 問 30 あなたが今最も不安に思うことは何ですか 当てはまるものを 全て 選んでください | 1 特にな 2 健康 3 仕事 4 日々の暮らし向き 5 相談相手がいない 6 老後の生活 7 その他() |

| 質問 | 回答 |
|---|--|
| <p>問 31</p> <p>あなたは山谷地域にどのような居場所を必要としていますか</p> <p>当てはまるものを全て選んでください</p> | <p>1 趣味のものづくりや工作、将棋などができるところ</p> <p>2 他の人たちと談話できるところ</p> <p>3 体を動かして運動できるところ</p> <p>4 食事を作れるところ</p> <p>5 その他 ()</p> |
| <p>問 32</p> <p>あなたが現在必要としている支援は何ですか</p> <p>当てはまるものを全て選んでください</p> | <p>1 食事に関する支援</p> <p>2 住まいに関する支援</p> <p>3 健康相談や医療・介護に関する支援</p> <p>4 人とのつながり・生きがいづくりに関する支援</p> <p>5 仕事に関する支援</p> <p>6 年金受給のための支援</p> <p>7 生活保護受給に向けた支援</p> <p>8 当面の生活費に関する支援</p> <p>9 その他 ()</p> |

※ あなたのご意見、ご希望等がありましたら以下に自由にお書きください。

お疲れのところご回答ありがとうございました。
くれぐれも健康にご留意ください。

東京都福祉局生活福祉部保護課山谷対策担当